

令和6年第8回小金井市教育委員会定例会議事日程

令和6年7月30日(火)

午後1時30分開会

開催日時	令和6年7月30日	開会 閉会	1時30分 5時55分	
場 所	本庁舎 第一会議室			
出席委員	教 育 長 教育長職務 代理者 委 員	大熊 雅士 浅野 智彦 小山田佳代	委 員 委 員	佐島 規 穂坂 英明
欠席委員	なし			
教科書採 択選定調 査委員会	校 長 (委員長)	清水 裕徑	校 長 (副委員長)	門脇 利種
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 庶務課長 学務課長 指導室長	大津 雅利 鈴木 功 笹栗 秀亮 平田 勇治	統括指導主事 指導主事 庶務課庶務係長	田村 忍 向井隆一郎 小平 文洋
調 整				
傍聴者 人 数	37名			

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 2 1 号	令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について
第 3	報 告 事 項	1 その他
		2 今後の日程
第 4	議案第 2 2 号	職員の人事異動について

大熊教育長 ただいまから、令和6年第8回小金井市教育委員会定例会を開会
します。なお、本日、生涯学習部の職員については、公務により本
会議を欠席する旨の報告を受けております。

では、日程の第1、会議録署名委員の指名についてです。

本日の会議録署名委員は、浅野教育長職務代理者と小山田委員に
お願いいたします。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

大熊教育長 次に、日程第2、議案第21号、令和7年度使用中学校教科用図
書の採択についてを議題といたします。

提案理由について説明をお願いいたします。

大津学校 提案理由について御説明いたします。

教育部長 本件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律
第21条第6号の規定に基づき、令和7年度使用中学校教科用図書
の採択をする必要があるため、本案を提出するものでございます。

細部については担当室長から説明いたしますので、よろしく御審
議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

平田指導室長 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について、これまでの経
過等をご説明いたします。

小金井市立学校使用教科書採択のための調査研究に関する要綱
及び同細目に基づいて、調査研究を進めてまいりました。

まず、各学校における調査研究、そして、各学校長から推薦され
た委員で構成した調査研究委員会における調査研究が行われまし
た。

それらを基に、選定調査委員会の正副委員長、調査研究委員会の
正副委員長、保護者の代表、教育委員会事務局で構成された選定調
査委員会で協議を行いました。その結果をまとめたものが、本日配
付した選定調査資料でございます。

選定調査資料は、各教科の教科書会社ごとに作成しています。ま
た、5月29日から6月20日までの間、図書館本館、図書館貫井

北分室、小金井市教職員研修センターにおいて、市民向けの教科書展示会を行いました。その際、本日の資料として公開可と確認された御意見・御感想について、本日資料として配付しています。

説明は以上です。

大熊教育長

それでは最初に、今回の教科書選定に当たり、教育委員会としての視点を確認したいと思います。

これからの学校の授業には、学習指導要領に基づいて「何を学ぶか」だけではなく、「どのように学ぶか」を重視した授業改善、授業変革が必要になります。

そのためには、子供たちが見通しを持って粘り強く取り組む力を身につけられる授業、周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想を生む授業、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業への転換が求められています。

具体的には、子供たち一人一人が自分の考えを持ち、ただ単に話をするのではなく、質の高い対話に向かうこと。自ら課題を見つけ、主体性を持ち、時にICT環境も効果的に活用しながら、個別最適な学びや協働的な学びに向かうことが、授業において取り組むべき内容となっております。

このような視点を基にして、主体的・対話的で深い学びにつながる授業が展開できる教科書、よりよい学びを実現できる教科書を選定していきたいと考えております。

このようなことは、校長会や調査研究委員会の先生にも伝えてまいりました。このような視点で選定をお願いしたいと思います。委員の方々、よろしく願いいたします。

特に私は、主体的に学びに向かうということが、特に大事だと思います。主体的にというのは、子供の心に火をつけて、自ら学びに向かう、そんな授業、そんな教科書を選べたらいいなと思いますので、どうかその点を重視していただければと思います。

それでは、選定調査委員長、副委員長に私どもが質問し、お答えいただいて、理解を深め、協議をしていきたいと思っております。

協議につきましては、全部で16の種目の教科書を選定する必要がありますので、効率よく進めていけるよう、御協力をお願いいたします。

なお、私どもは、選定調査資料を事前に拝見し、各自で教科書見

本を基に研究していることから、教科書各社ごとの説明については、報告書全てではなく特徴的なことに絞って報告していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 よろしいでしょうか。
それでは、選定調査委員長より、報告に関する説明をお願いいたします。

清水選定
委員長 報告に関する説明をいたします。
それぞれの種目、教科書会社ごとに報告させていただきますが、配付した選定調査資料のうち、主体的・対話的で深い学びの実現を中心に、特徴的な内容に絞って報告いたします。
また、選定調査委員会の保護者代表の方々から御意見をいただいたので、その意見を報告します。
保護者代表の方々からは、子供たちのことを考えた、先生方が選んだ教科書が一番よい。先生方が教えやすい、分かりやすいものを選んでほしい。生徒が意見交換をできるものになっているか、学んだことを社会で生かすことができるものになっているか、子供の気持ちに立って、学んでみたいと思う内容やデザインになっているか、などの御意見をいただきました。
私からの説明は以上です。

大熊教育長 そうですね、深い学び、先ほどは「子供の心に火をつける」という話をしましたが、深い学びというものは一体何なのかと考えたときに、学んだことが社会に生かされるという視点も重要だと思いますので、この点も一つ、保護者の意見を基にして、その点を重視して選んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。
それでは、国語の説明をお願いします。

清水選定
委員長 それでは、国語の調査研究の報告をいたします。国語は全4社になります。
まず、東京書籍についてです。東京書籍については、話合いやグ

ループ活動を多く取り入れられるようになっていきます。また、第1学年の古典の教材に「伊曾保物語」、イソップ物語の和訳ですね、こちらのほうが取り上げられているというのが特徴としてありました。

続いて、三省堂です。三省堂には、自然や環境問題を扱う単元が多くなっているということ。また、単元の後に「学びの道しるべ」といったものが挟んであって、図や表などを用いて内容を整理できるなどの工夫がされていて、学びの整理を出しやすい構成になっているというのが特徴としてありました。

続いて、教育出版の教科書については、SNSやSDGsなど、今日的な課題が題材とされた教材が挙げられていました。また、「学びナビ」が単元の前にあり、その作品を読む目当てがはっきりとそこで分かるというのが、一つ特徴として挙げられております。

国語の最後、光村図書の教科書です。光村の特徴としては、多様性やAIなど現代的な課題に対して考えを持つことや、それを表現する学習内容といったものが多く設定されています。また、今日的な論説、また普遍的な価値のある読み物教材といったものが効果的に選択され配置されているということが、この光村図書の特徴として挙げられます。

国語の教科書報告については以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方はお願いいたします。

小山田委員 掲載されている文学作品の説明文、言語に関する教材等についてなのですが、特徴のある教科書は、この中でありましたでしょうか。

清水選定
委員長 文学的な作品については、伝統的といいますか、よくある「少年の日の思い出」、それから「走れメロス」、「故郷」といった作品については、各教科書共通で収録されておりました。

特徴的な作品としては、教育出版の教科書には「夏の葬列」「蜘蛛の糸」といった作品、また、今日的なAIをテーマとした作品が、光村図書には「ヒューマノイド」という作品が挙げられております。

そういった中から、古典から新作までバランスよく教材の配置が見られるのは、光村図書でした。

- 大熊教育長 ほかに質問ございますか。
- 佐島委員 本市の各学校では、読書活動が盛んだと思うのです。生徒たちも、本にすごく親しんでいるんじゃないかなと思うのですが、読書活動の取扱いについて、特徴のある教科書はありますか。
- 清水選定
委員長 全ての教科書において、読書活動促進のための図書の紹介ページというのは存在していました。
- 中でも特徴的なのは光村図書、それから東京書籍で、本文を引用している部分があって、生徒が試し読みをできるような配慮がされておりました。
- 大熊教育長 その他、質問ございませんか。よろしいですか。
- それでは、これより協議に入ります。御意見をお願いいたします。
- 浅野教育長 今、質疑にありました読書活動についてなのですが、ざっと見たところ、光村図書の読書案内、こちらはジャンルごとに紹介がなされていて、生徒ごとにそれぞれの関心で読みたい本を探そうことができるという意味で、工夫されているかなと感じました。こういう教科書がいいのではないかなというふうに思います。
- 大熊教育長 なるほど。ほかにございますか。
- 佐島委員 私は三省堂の教科書、古典の教材が豊富に出ていて、詳しく解説があるのはよいなと思いました。
- 先ほどの報告にもありましたけれども、光村図書はA Iなどの現代的な課題に対する文章や、普遍的な価値のある読み物教材などがバランスよく配置されているという印象です。様々な作品に触れることは、より深い学びにつながるのではないかと思います。
- 以上です。
- 大熊教育長 ほかにございますか。
- 穂坂委員 光村図書の巻頭には「思考の地図」が掲載されておりまして、国語における見方、考え方が示されていると思います。生徒が学習し

ていく上で手がかりとなり、主体的な学びにつながるものと考えております。

以上です。

大熊教育長 これですよね。今回は、他の教科書にもこのような形の、いわゆる思考をつくるみたいなものはいろんなところで使われていて、国語にも入っているということでは特徴的かなと思います。

ほかにございますか。

小山田委員 各社とも見ますと、表題文の後に学習の狙いや整理の方法ということで、それぞれ出版社でタイトル名は違うんですが、手引というようなところが設けられているのですが、特に光村図書の「学びへの扉」というところを見るとかなり秀逸で、子供たちの主体的・対話的で深い学びにつながるような授業の展開ができるようになっていないかと思われま

す。ちょっと具体的に見ていただけたらと思うのですが、3年生の「故郷」の単元なのですが、どれも最後のところに、学びのフォーカスとか道しるべというようなものがあるのですが、教育出版のほうは182ページからが「故郷」ですね。道しるべというのがその後にあります。

東京書籍が、170ページに書いてありますが、このことです。

ここに一応、どのような流れで学習すればいいかというのが示されているのですが、この表現の仕方とかというのが、各出版社によって違って

います。そちらが光村図書になるのですが、横に並んで、右から左へという形で流れていると思うのですが、ほかの3社はそうなんですが、光村図書だけ縦に見るみたいになっております。国語って縦で読んでいくので、字は横の字にはなっているのですが、自然の流れでいくと流れは縦に見ていけるというところで、見やすいのではないかと思います。あと、この中身ですが、一番最初に目標、見通しを持つというのがあって、それを踏まえた上で、まず「捉える」ということで、作品の出典を捉えようという、自分と他の登場人物の関係性を整理しようとか、時や場所や人物に着目するということがあります。その後に、作品の中の登場人物や読み深めようということがありまして、さらに最後は、その深めたものを基に批評をしよう

いうことで、さらに発展的に構成されています。

その左ページに、最後の批評をしようという学びの鍵という「文学作品の批評をする」というところで、さらに観点を幾つか例が示されており、非常にヒントがたくさんあります。子供たちもこういったことから、自分たちの主体的・対話的な深い学びにつながるのではないかと思われるというのが、この3年生の事例です。

もう1つ、1年生のほうも……。

大熊教育長 ちょっと今のところを確認したいのですが、これが光村図書です。これが教育出版です。中身からすると、自分の考えを伝え合おうという、一番初めに読みを深めるのです。内容を捉えよう、読みを深めよう、また、自分の考えを伝え合おう。これが東京書籍は、やっぱり同じようなことになっているのですが、見やすさからすると、先ほどのほうがしっかり段階を追って見えるという感じはしますよね。これは見通す、つかむ、読みを深める、考えを持つということの流れで、「批評しよう」という言葉、これが三省堂です。

こういう形で、子供が主体的に文章で読んでいこうというときにヒントになる、段階を追うということに関しては、どこの教科書にも使われているんですけども、それがしっかりと見える形でできているのが光村図書だったということによろしいですか。

小山田委員 はい、そうです。

大熊教育長 じゃあ、私どもも確認していきたいと思います。よろしく願いいたします。

ほかにはよろしいですか。

小山田委員 あとは、1年生のほうの教科書も見ていただけたらと思うんですが、それぞれ「竹取物語」の単元が、どの教科書にもあるのですが、古典というのはなかなか最初、子供たちも取っつきにくいというか、取りかかりづらいようなところがあるのではないかと思える単元なのですが、その中で、やはり4社それぞれ書き方、表現の仕方というのが結構特徴的です。

その中で、古文と現代文との表し方というか書き方というのがありまして、大体、今は混在して出てくるのです。現代文があって、

古文があつて、また現代文という形になっているのですが、この古文の部分が、今、スクリーンですとちょうどそこが見えていますが、上に古文があつて下に現代文があつてというような形で、大体どの出版社もそのようになっております。しかし、光村図書はこの書き方がちょっと違つていまして、古文の横に現代文があるんです。なので、ちゃんと対応しながら、この言葉は現代文だったらこれだというのを見ながら自分たちで勉強していくことができるというのも、よいのかなと思ひました。

あと、その先に進みますと、様々な「竹取物語」の紹介コーナーというのもそれぞれあるのですが、光村図書のほうは本だけでなく、映画や漫画というようなところの「竹取物語」も紹介されていまして、子供たちも割と映画とか漫画というところのほうに関心を持って、読んでみようかなと思うのではないかなと思ひました。

あと、さらに先を進めていただきますと、最後に、出版社のどちらかが絵巻ですね、こういうのが出ているんですが、皆様もよく御存じだと5人の貴公子の仕掛けられた難題のくだりというのがあるのですが、これが、今、映していただいているのが光村図書で、それが一番大きく4つ、大きい絵図がありまして、その中を丸で囲んで、そこにコメントがあります。これは「貴公子たちの失敗談」というタイトルで、ちょっと面白く表現されていまして、絵のほうも割と大きく見えるので、それぞれの表情とかも見えるぐらいで、下の欄には、最後、失敗談の後、言葉遊びというところで締められておりまして、割と子供たちも身近に感じながら、興味を持って見てもらえる構成になっていると思ひました。子供たちの主体的・対話的な学びというところからもつながっていくのかなと思ひます。

大熊教育長 これは東京書籍ですけど、同じようなところが出ているんですけど、それぞれちょっと固いという感じです。

小山田委員 そうですね。固いですね。固いというか。はい。

大熊教育長 ほかもいろいろ工夫はされているんですね。教育出版も、「5人の求婚者と難題」という形で出ていて。こんな形のやつもあつて。

これは2つに分かれている。これは教育出版です。

そうすると、この中では、古典に親しむということの一つ、中学1年生で初めて出会うというところがありますので、その点では、興味・関心を高められるのはこれかなということでしょうか。

小山田委員 はい、そのとおりです。

大熊教育長 今のような意見が出ていたんですけど、委員の皆さん、いかがでしょうか。

浅野教育長
職務代理者 「失敗談」っていいですね。子供たちは絶対これに食いつくと思いますので、主体性を触発するきっかけとしては、こういうのはとてもいいかなと思いました。

大熊教育長 教科書でこういう形の言葉ってあんまり見なかったのではないかなという感じがしますがね。何かこう、いいですね。

佐島委員 私は子供たちが主体的に、食いつきやすい映画とか漫画とかいうものを取り入れられているというのはいいところだなと思いました。

大熊教育長 こういうところですね。一番、古典というと山が高いというか。これは限りなく小さくしているかなという努力が見られるという形ですね。

ほかにいかがですか。よろしいですか。

読書活動は、小金井市はとても進んでいるというか、子供たちがよく読書をするという意味では、各社、読書の紹介というのは優れているなというふうに思いました。

教育出版は全部で8ページにわたって紹介されているとか、光村図書はその一部が紹介されていて、それを読みたいという気持ちにさせるところがあるというのは、一つの特徴だったんじゃないかなというふうに思います。

それからもう1つ特筆すべきは、「学びの扉」のところが唯一、縦書きになっていて、子供たちが見やすい。その見やすさから、子供たちが主体的に学びをつなげるという点ではよかったかなという

ふうには考えました。皆さん、いかがだったでしょうか。見やすさとしては優れているのではないかなと思いました。

それから、子供たちの学びを考えると、古典というのは中学校で一つの大きな課題になるのですが、その山の高さを少しでも低くするための努力が、光村図書は見られるということで、以上のことで、国語の教科書は光村図書でよろしいでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 よろしいですか。それでは、国語の教科書は光村図書に決定したいと思います。

次に、書写の説明をお願いいたします。

門脇選定 それでは、調査研究の報告をします。全4社になります。

副委員長 東京書籍には、各学年の目標が端的で分かりやすい、現代につながる文字の役割や、生徒の興味を引き出すなどの特徴がありました。

三省堂には、「日常の書式」で、身の回りの様々な書式を学ぶことができ、日常に生かすことができる教材です。毛筆の補充教材や、硬筆に偏ることなく毛筆のお手本も充実しているなどの特徴がありました。

教育出版については、学習内容が豊富で、様々な角度から書写を学習できる、書体についての説明や解説が分かりやすいという特徴がありました。

光村図書には、毛筆や硬筆にとどまらず、ICT端末の使用時の姿勢にも言及しており、時代に合った教材であったと思います。入学願書など、現実的な生活の中で書写の活用を取り上げているなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方、どうぞ。

穂坂委員 書写で学習したことが日常にも生きていかなければいけないと感じるのですが、特徴のある教科書はありますか。

門脇選定 どの教科書も、日常生活との関連性について取り扱っています。

- 副委員長 特徴的なのは光村図書で、コラム「自分らしい字」において個性が出る字を紹介し、より書写が身近に感じられる工夫がされています。書き込みできるページが多く、年賀状などは実際に使用することができるようになっています。
- 大熊教育長 ほかにございますか。
- 小山田委員 国語の教科書との関連という視点から、特徴のある教科書はございますか。
- 門脇選定副員長 光村図書が、国語の教科書との関連性が特に出てきます。他の3社も、教科書に掲載されている古典の教材を硬筆で扱っています。
- 大熊教育長 書写なんですけれども、やはり教科書との関連で、教材が同じであるということは非常に重要な視点だと考えます。何かその点で質問等ございますか。よろしいですか。
- 今回、光村で面白かったところは、1つの字じゃなくて、「自分らしい字」というページがありまして、1つの型を押しつけるのではなくて、自分らしい字を書いてみようというところは特筆すべきところじゃないかなというふうに、私自身は思いました。
- そんなところもあるし、先ほど光村図書を教科書に選んだことから、光村図書が一つの視点としてはあると思いますが、協議に入りたいと思います。いかがでしょうか。
- 穂坂委員 どの教科書も二次元コードを活用し、動画や資料を用意されています。特に光村図書の動画は、実際の筆の持ち方、運び方を確認することができるという特徴もあり、とても分かりやすいのではないかと思います。
- 大熊教育長 動画がよかったということですね。ほかにございますか。
- 浅野教育長職務代理者 光村図書の教科書は、ICTを比較的積極的に取り組んでいる姿勢があって、そこがいいなというふうに思いました。書くときの姿勢というのは大体どの教科書でも取り上げるのですが、ICT端末を使うときの姿勢ということについても注意を向けていて、

この辺、非常に面白いなと感じたところです。

大熊教育長 ほかにございますか。

佐島委員 先ほどの質疑で、日常生活の関連性ということで、どの教科書も取り扱っているというお話ではありましたが、私が見た中では、光村図書には「日常に役立つ書式」というものがあって、手紙や入学願書など、使える書き方というのが掲載されています。例もすごく豊富で、学んだことを実生活でも活用できるという観点から、なかなかいいなというふうに見ていました。

大熊教育長 先ほども、教科書を選定する視点として、生活に生かせるいうところを指摘させていただきましたが、その点でも光村図書が優れているという点を指摘させていただきました。ほかにございますか。

小山田委員 質疑にも先ほどありましたが、光村図書にはコラムとして「自分らしい文字」というのがあります。有名人の手書きの文字が掲載されておりまして、その人らしさが出ている文字があるということで、書写をより身近に感じることができるのではないのでしょうか。
また、国語で学んだ作品が教材として扱われているということを考えてみると、同じ光村図書がよいのではないかと思います。いかがでしょうか。

大熊教育長 なるほど。この中で、私、田部井淳子さんに会ったことがあるのです。田部井淳子さんが経営している山荘に泊まったことがあります。これを見て、こういう字を書く人だと思いました。

私もさっき自分らしい字ということになったとき、手塚治虫のこのサインって有名ですよ。そういう意味では、1つの字だけを、押しつけるというわけじゃないですけども、こういう字があるときに、自分らしい字ということが示されているのは、子供たちにとっても安心なことになるのかなという気がします。

その他、御意見ございますか。

国語の教科書で光村図書を選んだということと、教材が似ているということ、さらに、この「自分らしい字」があること、日常生活に生かせるという教材が豊富であるということから、書写の教科書

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方、お願いいたします。

佐島委員 主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び、協働的な学びの実現という点において、特徴のある教科書はありましたでしょうか。

清水選定
委員長 東京書籍は、導入のページで、外観ページと次の見開きを使って、生徒が主体的に課題をつかめる工夫がされています。

また日本文教出版は、「第2章 世界の諸地域」では、各単元に章ごとの学習テーマと地球的課題が設定されていて、持続可能な社会に向けた課題提起と解決に向けた思考を促す内容になっています。

大熊教育長 ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者 地理に限らず社会科全体がそうですけど、調査とか資料の読解と
いったことが非常に大切になってくると思うのですが、そういった
点について、何か特徴のある教科書はありましたでしょうか。

清水選定
委員長 帝国書院の教科書は、地図帳の活用方法についても記載されていて、
地図等の資料から情報を調べる技能について学習しやすくなっ
ております。

大熊教育長 その他質問はございませんか。よろしいですか。
それでは、これより協議に入ります。御意見をお願いいたします。

佐島委員 小金井市の子供たちには、これからの日本や世界で活躍できる力
を身につけてほしいなと思っています。そのような点から考えると、
日本や世界について学習する地理の教科書において、持続可能な目
標であるSDGsの視点や、現代的な課題が取り入れられていると
いうことは大変重要ではないかなと思っていますところでは。

教育長、どの教科書もSDGsを取り扱っているとは思いますが、
取扱いの違いを見せていただけますか。

大熊教育長 こういう形で、1ページ目でいきなり取り上げられている教科書

もありますが、これも同じく、これも…。

佐島委員 網羅的に全てということでしょうか。

大熊教育長 全てではないんですね。こういう教科書もあります。
押しなべてSDGsは大事ですが、目次の中にそれがしっかり入っているか入っていないのか、見ていただきますと、これなんかは、目次の中にこれと分かる言葉が入っていないんです。
どこに入っているかという、これは教育出版なのですが、この「学習コラム」というところに入っているのです。

佐島委員 コラム的な扱いというのは結構されていますね。

大熊教育長 コラム的な扱いではないのは、文教出版は、「持続可能な地域を目指して」ということで、コラムではなくて1ページを割いて書いてあるやつがあります。
それから、ここも取り上げられているんですけど、ここは、「未来に向けて」というところが、このSDGsに関することが書いてあります。これは帝国書院です。
もう1つは東京書籍なんですが、東京書籍は先ほどの分類からいうと、教科書の中に書いてあるのではなくて、その後のコラムのほうに書いてあります。そういう教科書の特徴があるかなと思います。

佐島委員 なるほど。私が見た中では、帝国書院の「未来に向けて」という、182ページですかね。

大熊教育長 しっかりページを割いて、こういう形で、コラムじゃなくて1ページを割いていますね。

佐島委員 結構、補足の資料とかもあって、充実しているなという感じですね。

大熊教育長 自然環境のことに関しては、このページが一番優れているかなというふうに見えました。ほかのところにもないわけではないのですが、扱いが一番大きいかなという気がしました。

以上、よろしいですか。

佐島委員 はい。

大熊教育長 ほかにございますか。

小山田委員 教科書の展示会でのアンケートからなんですけれども、先ほども御説明ありました帝国書院の「アクティブ地理」で、防災について話し合うことは必要なことであるという御意見がありました。

「アクティブ地理」は150ページです。「自然災害から命を守ろう」というページがございまして、イラストから自然災害の危険性。右側の2になると今度はハザードマップですね。「避難先を考えよう」というのがありまして、最後、「あなたが暮らす地域で」というところで、自分たちの地域の防災に関する情報を考えてみましょうというようにつながっているのです。ここら辺、アンケートでも高評価であったということです。

現代の、本当にいつ起こってもおかしくないような、こういった課題については、対話的に学ぶということで、子供たちが自分たちで主体的に話し合いながら、防災のことも考えていけるということでは、非常に大切なことではないかと思えます。

大熊教育長 これが、そうですね、教科書を見ていただいた方に評価されたということを確認させていただきました。

ほかにございますか。

穂坂委員 東京書籍や帝国書院の教科書の、狙いや問いの提示の仕方がよいと思いますが、章や節の狙いや、問い、学習課題という形で、単元をつないでいく狙いや問いを明確に示していくのではないかと。生徒が学習の見通しを持つことにつながると思えます。

大熊教育長 そうなんですよね。東京書籍は課題がこうやって示されている。小学校版のときから比べるととても小さいのですが、全部のところにはそういうのがあって。

これは教育出版で、こういうところにも学習課題というのが大変しっかりと全部にあって。これは、日本文教出版はこういう形で書

かれています。

これはどこも大体同じような感じで見られていて、こういうところを読んで、子供たちが課題として主体的に取り組んでもらえればいいかなというところは、私どももしっかり確認させていただきましたが、若干甲乙つけ難いという感じになりましたかね。その辺はあったかなと思います。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

課題点について言うと、小学校のときは「課題をつくる」なのですよね。中学校だと課題が最初から与えられているので、小学校と中学校の違いが、中学校での社会科の教育の在り方の一つの課題になるんじゃないかなという、教科書の選定とは関係のないことなんです。

大熊教育長

そのことは、大事だと思います。小学校のときに選んだのは、どうやって課題をつくるかということが書いてある教科書を選んだのですよ。しかし、今回は、ここも書いてあるんだけど、「どのような特徴があるだろうか」という、初めから課題が書いてあるのです。

浅野教育長
職務代理者

全社そうですね。

大熊教育長

もしも、小学校の教科書選定に入っていたら、どの教科書も選ばなかったと思います。これは、教科書会社としても少し考えていただきたいと思っております。

浅野教育長
職務代理者

今、穂坂委員もおっしゃったように、私も、どの会社も非常によくできているなと思うのですが、あえて言うと帝国書院と東京書籍が特にいいかなと感じました。

なかなか甲乙つけ難いんですけれども、2点ですね。帝国書院のほうが一歩抜けているかなと思うところがありますので、その辺を指摘させていただきます。

まず、選定資料にもありましたけれども、地図の見やすさがやはり帝国書院は優れているというところがあって、中でも日本の地史の、どこでもいいんですけど、節の最初の扉のページですね、さっ

きの四国地方とか地方というやつ、帝国書院の15ページあたりですかね。

大熊教育長 そうですね、これですね。

浅野教育長 それです。扉のページです。
職務代理者

大熊教育長 扉のページのところの、ここですね。

浅野教育長 そうです。やはり地図の作成に蓄積があるのだらうなというふう
職務代理者 に感じるのですが、非常に、これから学習する内容を一目でぱ
っと見やすく、まず扉のページに提示しているというところが、他
社にもない、非常に面白い、いい地図の使い方だなというふうに感
じます。

これから先の地域の学習にとっては、指導要領でも強調されてい
るところですが、情報システムとの関連は欠かせないと思うのです。
いわゆるGISとの関係でいうと、国土地理院の地理院地図をどの
ように活用していくかということが、中学校の社会科の授業におい
てもとても大切になってくると思います。

申し訳ありません、135ページを見ていただけますでしょうか。
この観点からいうと、地理院地図をお使いになられたことがある方
は御存じのことと思うのですが、帝国書院のほうは、それぞれ取り
扱っており、かなりいろんなことができます。それを結構掘り下げ
た紹介がなされています。

実は、東京書籍のほうも149ページで紹介はしているんですけども、この紹介も悪くはないのですが、帝国書院のやや深い説明に比べて、一歩、やや下がるところがあるかなという印象を受けました。

大熊教育長 見やすいですよ。

浅野教育長 はい。その比較も、実は上はGISなんですけど、下は必ずしも
職務代理者 そうだと明言されていないところもあって、分かりづらいです。

なので、地図の見やすさ、それから章の扉の地図のうまい使い方、

G I Sに関する言及という2点で、私としては帝国書院を1位、東京書籍を2位というふうに考えています。

大熊教育長

ほかに御意見ありませんか。

私も調べてきたので紹介させていただきたいと思うのですが、浅野先生のところまではいっていないのですが、先ほどの地図の話ですけど、ここ、地図がどうのこうのということではないと思うのですけど、見ていただいて、どれが見やすかったですか。

それから、このページのところで、前のところで北アメリカの紹介をしていて、このページで地図があって、その国の様子を表す写真があるんですよ。実は全部共通していたのです。さっきの1ページをめくるとこれがあって、地図があって、紹介のページですね。

私たちが選びたいと思ったのは、主体的にということですよ。このページを見て、ここを見て、アメリカのことについて勉強したいと思えるページはどれかって考えるわけですけど、どれが一番、子供たちが調べたいと思いますか。これでしょう。

こうなったときに、これがあってこれがあってこれがある。3つもある国ってどんどころ？ この差が大きいでしょう。これは1つなんですよ。これはここだけなんですよ。これは迫っていますよね。

学びたいと思える教科書を考えてみると、今、教科書名を言っていなかったですけど、どれが一番、学びたくなりますか。

委員の皆さん、どれですか。この1つしかないのが教育出版、これとこれしかないのが東京書籍、こことここしかないのが日本文教出版ということで、主体的な学びを促すためには、いろいろありましたけれども、地図がきれいで、興味・関心を持てる、そういう形の帝国書院に決めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

よろしいですか。

それでは、まだほかにもあったのですが、こんな形で決めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは次に、社会（歴史的分野）の説明をお願いいたします。

門脇選定
副委員長

それでは、社会の調査研究の報告をします。全9社になります。東京書籍は、問いを軸にした課題解決的な学習によって、時代全体を体感することが意識された内容になっています。感染症の歴史など、現代社会に関わる内容も豊富であるというような特徴がありました。

教育出版には、教材を示しながら生徒の思考を促す問いが設計されており、生徒の学習を深められるように工夫されています。歴史学習の最後に、現在と未来について考察・構想し表現する活動を位置づけており、主体的に学ぶことができる構成になっています。そのような特徴がありました。

帝国書院には、学習課題を見開きにセットし、見通し、振り返り学習を積み重ねることで、章や節の問いに迫れるよう構造化されています。持続可能な社会づくりに向けて、環境や交流、人権、平和というテーマを定めたコラムが複数掲載されているなどの特徴がありました。

山川出版には、解説の文章が丁寧であり、歴史の因果関係や関連性が非常に分かりやすくなっています。資料写真が多く掲載されています。そのような特徴がありました。

日本文教出版には、「チャレンジ歴史」は、資料を基に、歴史の見方・考え方を使って自身の考えを深めるページがあります。「歴史を掘り下げる」「地域に学ぶ」「近代の女性」など、多様なコラムがあることで、学習を深めることができるなどの特徴がありました。

自由社には、「人物クローズアップ」や「もっと知りたい」などで内容を深めることができ、資料が多く、事象のイメージがつきやすいなどの特徴がありました。

育鵬社には、「課題をつかむ」から「課題について調べる」「課題についてまとめる、表現する」という問題解決型の学習になっています。各章で学んだ学習内容の定着を確認できる学習のまとめが設けられており、多面的・多角的に時代像をまとめる工夫がされているなどの特徴がありました。

学び舎には、本文欄外のコラムが内容も分かりやすく、中学生が歴史に興味を持ちやすいものとなっています。各時代の庶民の生活に焦点を当てた記述が豊富であるなどの特徴がありました。

令和書籍には、単元の初めに課題を提示し、その後詳しく本文が記述してあったり、資料を掲載したりしているので、課題解決に向

けて学習を進めやすい。コラムのように歴史を深掘りするものがあり、興味・関心を持ちやすくなっているなどの特徴がありました。報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方、お願いいたします。

浅野教育長
職務代理者 中学校の歴史的分野では、世界史が登場します。日本の歴史の大きな流れを捉えるので、バックグラウンドというか背景に世界史を置いて、全体を各時代の特徴と共に一緒に捉えるということが必要になってくると思います。そういったことから見て、何か特徴のある教科書はありましたでしょうか。

門脇選定
副委員長 東京書籍は、問いを軸にした課題解決的な学習によって、世界の歴史も含めて、時代全体を体感することが意識された資料や内容になっています。

大熊教育長 ほかにございますか。

小山田委員 小学校の学習との接続という点では、特徴のある教科書はありましたでしょうか。

門脇選定
副委員長 東京書籍が、小学校で活用した用語を掲載しており、小学校での学びがスムーズに移行できるよう工夫されています。
教育出版は、小学校で学習した人物が分かるような構成になっており、小学校での既習事項との関連づけが分かりやすくなっています。

大熊教育長 ということでございます。
ほかに質問ございませんか。よろしいですか。
それでは、協議に入りたいと思います。御意見をお願いいたします。

小山田委員 歴史の教科書につきましては、教科書展示会のアンケートで非常に多くの御意見がございました。市民の皆さんの教科書に対する思いを受け止め、それを踏まえた上で、これからの小金井市の子供た

ちに求められる力を育むために、主体的・対話的で深い学びを実現できる教科書を選ぶ必要があると思いました。

選定調査資料を拝見いたしますと、東京書籍は、問いを軸にした課題解決的な学習によって、時代全体を体感することが意識された内容になっているとあります。

教育出版は、教材を示しながら、生徒の思考を促す問いが設定されており、生徒の学習を深める工夫がされています。問いを基に学習していくということは、生徒の主体的な学びにつながると思います。この2つが割と特徴的なのかなと思いました。

大熊教育長

ありがとうございました。ほかにございますか。

佐島委員

学習においては、振り返りとかまとめも重要になってくるのではないかなと思っています。そういう中で、育鵬社ですけど、学習内容を確認するための確認とか探究というのを、見開きの終わりのほうに設置していて、レポートとか論述形式、また、自分の考えを発表したりという多様な方法を工夫しているという点が目を引きました。

東京書籍ですが、例えば95ページの中世のまとめのところ、右のほうにクラゲみたいな形がありましたけれど、いわゆるクラゲチャートという思考ツールを活用しています。年表などにまとめるだけじゃなくて、様々なまとめ方が工夫されていて、生徒が自分の考えをまとめることで、より深い学びにつながるのではないかなと思いました。

大熊教育長

これは、まとめ方を調べてみたら、こういう形の年表になっている育鵬社、それから教育出版も年表の形でまとめる形です。しかし、教育出版はこの後に、転換点は何だったのかという問いかけがあって、まとめ方に工夫があるなど。年表プラスまとめというのが教育出版ですね。

それから学び舎は、これは少し昔のタイプというか、穴埋め式のまとめになっている。

それから日本文教出版は、さっきのというと穴埋め式、問いかけ、年表のというと年表式。でも問いかけはここにちょっと残っています。

帝国書院は、問いかけることによってまとめている形のものにな

っているということは確かで、深い学びということを期待すると、
どうなのがいいのかということを考えていかなきゃいけないと思
いますので、よろしく願いいたします。ほかにありますか。

浅野教育長
職務代理者

多くの教科書がかなり高い水準に、高い完成度に達しているなど
というのが私の第一印象でした。

強いて言うと3つ、これはいいなと思う教科書がありましたので、
それについてお話をさせていただこうと思います。1つは帝国書院
です。もう1つが東京書籍で、3つ目が学び舎のものです。

学び舎は、今、教育長からお話があったように、最後のまとめに
やや難があって、全体の教科書としてのつくり方として使いづら
いと感じる方がいらっしゃるかなというのは私も理解するところな
のですが、ただ、トピックの選び方と、そのつなげ方が非常にユニ
ークで面白いんですね。見ているだけで、そこからどんな授業が展
開されてくるのかなということについて、わくわくするというのが
あります。

いろいろ例はあるのですが、例えば、昆布というものに注目する。
どの教科書も、北海道と沖縄・琉球については集中的に取り上げて
いるんです。全ての教科書でそうなのですが、学び舎の場合、昆布
を間に置いて、北海道から沖縄、そして中国にラインが伸びていく
様子を教科書で記述しているのですが、非常に想像力を刺激される
ところがあると感じました。

また、議論するところで、「学問のすすめ」は179ページ、今の
昆布の話は114ページです。

大熊教育長

本当ですね。

浅野教育長
職務代理者

はい、そうですね。それが琉球まで行って中国へも行く。

大熊教育長

昆布は琉球から中国へということですね。

浅野教育長
職務代理者

当時、ヨード不足が問題になっていた中国で、昆布が大量消費さ
れた話ですね。非常に面白いなと思いましたし、それから「学問の
すすめ」に関して、179ページですね、ここでいろんな意見を出

す例が挙がっていて、これは非常に公民の公正性の議論と通じるところがあって、分野横断的にも意味があるかなと思いますし、それから、今4つ吹き出しが並んでいる、この4つの生徒からの意見の例を見てみると、例えばマイケル・サンデルの「実力も運のうち」という本の内容を連想させるようなものもあって、これも非常に生徒たちの好奇心であるとか想像力であるとか、そういったものを刺激するところがあるんだろうなと思います。

それから近代社会については、フランス革命のところで、オランブ・ド・グージュのいわゆる女性の権利宣言、これが出てくるのは山川出版と学び舎の2つでしたかね、これも非常に重要なポイントですし、公民との関係で分野横断的な運用が非常に可能になる、面白い素材だなというふうに思いました。それがまず、まなび舎で面白いと思ったところです。

帝国書院については、私は非常にいいなと思ったところがあって、それは「タイムトラベル」というタイトルなんですけれども、見開きの大きな図です。

大熊教育長

これ、小学校の教科書を選んだとき、これが秀逸でしたよね。

浅野教育長
職務代理者

各時代に、その時代を表す見開きの図というか、イラストというんでしょうか、そういうものが定時されていて、これ、よく見ると、細かいところまでよくできているんです。なので生徒に、「この図を見て気がつくことを言ってみましょう」みたいなことで、いろんなことが見いだされて、そこからいろんな形で授業ができそうだなと思いました。まず見てもらう、で、そこに入り込んでもらうという意味で、主体性とか能動性に向けて刺激する、いい素材じゃないかなと思ったところです。

それから東京書籍について、これはいいなと思ったのが「もっと知りたい」という名前のページなんですけど、例えば196、197ページのところにこれが随所に入ってきていて、近代のところではメディアと感染症が取り上げられていて、非常に面白い資料がどこも紹介されているのです。選定資料の中でも「資料豊富」というふうに評価されていたと思うんですけれども、こういうところも含めて、そう評価されたのかなというふうに思います。

しかも、このコーナーは分野横断的にデザインされているので、

地理とか公民分野との連携が可能になっていて、単に歴史だけじゃなくて、社会科全体としての生徒の知的好奇心みたいなものをうまく刺激させる素材になるのではないかなというふうに思いました。

ということで、どれも面白いんですけども、いろいろ考えると、私としては東京書籍を第1に推したいかなというふうに思います。

大熊教育長 東京書籍は、もう一度言いますけど、この「もっと知りたい」というところがポイントですかね。

浅野教育長 そうですね。加えて、もうちょっと言うと、東京書籍の教科書としてのつくりが非常に丁寧です。ガイダンスというんでしょうか、自分が今どこにいるのかということについての指示が、本当に丁寧だなというところもあります。

何時代のどこにいるのかということが、多分どのページを見ても一目で分かるようになっていないかなと思うのです。そういう意味では迷子にならないし、自分が今どこを勉強しているのかということがすぐ分かるという、教科書として丁寧なデザインだということもあります。

そういうことも含めて、3社なかなか甲乙つけ難いんですが、私の中では、東京書籍をいち推ししておきたいと思います。

大熊教育長 東京書籍にこの絵があったら最高ですね。これ、子供たちが安心して学習に取り組むときに、見通しを持つという意味では、どんな時代だったのか予想してみようという使い方をするとするんですけど、大体こんなものだろうというのを想像していて、多分、前の時代のところと比べてどこが違っているというのを言うと思うのですよね。それが本当にそうか調べてみようという、そこだけでも問いが出来上がるので、小学校図書するときにはこれで選びましたよね。ほかにありますか。

穂坂委員 医学的な面からで、今、浅野委員が言われたように、東京書籍の197ページの「そこが知りたい」という、感染症の話ですけど、スペイン風邪とか結核だとか、ポスターがあったり、分かりやすい。新型コロナウイルスが蔓延した今回の感染症も含めて、もう一度皆

さんに確認していただけるとありがたいなと感じました。

大熊教育長 こここのところですね。

穂坂委員 はい。「うがいとマスク」って書いてありますけど。

大熊教育長 本当に。昔もそうやっていたのですね。

穂坂委員 あ、「マスクとうがひ」ですね、これ。逆から読むので。

大熊教育長 ああ、ここだ。マスクと「うがひ」ですね。

穂坂委員 これは、今でも、これからもすごい重要なことだと思うのです。

大熊教育長 ありがとうございます。これは東京書籍ですね。

前回はこうやって教科書を見せてやったのですが、これはこれははって言うだけで、教科書名を言わなかったら、後で会議録を作成するのが大変になってしまいました。今回は出来るだけ言うようにお願いします。

これは東京書籍でした。こっちの絵は帝国書院です。ほかにありますか。これも捨てるのは難しいですね。でも僕は、このまとめの仕方というのを、深い学びに近づけるということを考えていきたいと思うのです。そうすると、残念ながら穴埋め式は今の時代に合わない。いわゆる知識だけになってしまいますので、小金井市の場合は、穴埋め式の教科書は採用されにくいですね。小金井市は、知識ではなくて、さらに深い学びをしようとする、穴埋め式は選べないです。

まとめ方の問いを考えてみると、年表でまとめようとしているのが日本文教出版と教育出版。これが年表でまとめていて、教育出版のほうはさらに問いを立てて、問いでまとめようとしている。

帝国書院と東京書籍は、まとめの問いがあって、できるようになっている。東京書籍はさらに思考ツールを使って、自分たちで問いをまとめようとしている。

小金井市の子供たちにとって、最初のところでも言いましたが、未来につなげる、自分たちの考えを主体的にまとめるということを期待するとき、思考ツールがあって、そのことをしっかりとまとめ

られるということが大切です。

どれもいいんですけど、そういうことがある東京書籍が、小金井市の子供たちには合っているんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。教育出版も結構頑張っていると思うのですが。よろしいですか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

よろしいですか。論理的に言っていると思うんですけども。

それでは、社会（歴史的分野）の教科書は、東京書籍に決定いたします。

次に、社会（公民的分野）の説明をお願いいたします。

清水選定
委員長

それでは、社会（公民的分野）の報告をいたします。公民的分野、全6社になります。

最初は、東京書籍です。3年後、18歳になり、成年として主体的に社会参加をするための準備として、「18歳のステップ」というのが設けられていて、発達段階に応じていると言えます。

また、自由権の選択、模擬裁判、コンビニエンスの経営者など、現代社会の課題を考える活動ができる教材が豊富にあるというのが、東京書籍の特徴として挙げられます。

続いて、教育出版です。地理・歴史の学びと関連コーナーが設けられていて、多くの学習が公民につながることに気づける内容になっています。また、各章の冒頭に、各章で学習する見方・考え方が明示されていて、学習指導要領の狙いを意識した構成になっていると言えます。

続いて、帝国書院の特徴です。憲法の学習では、小学校や地理的分野・歴史的分野での学習を踏まえて考えられるように構成されています。また、「アクティブ公民」など、主体的・対話的活動が充実しているのが、帝国書院の教科書の特徴として挙げられます。

続いて、日本文教出版です。各ページに、そのページで学習する内容に対応する学習課題が載せられており、生徒の主体的な学びを促す工夫となっています。また、現代的な課題と関連した資料が多く掲載されていて、現代の課題と関連づけた学習が可能なのが、この教科書の特徴として挙げられます。

浅野教育長
職務代理者

ありがとうございます。

大熊教育長

その他、御質問ありますか。よろしいですか。

それでは、協議に入ります。御意見をお願いいたします。

浅野教育長
職務代理者

公民的分野についても、多くの教科書が非常によく工夫されていて、とても読みやすいなと思いました。

中でも、私がいいと思ったのが3社あって、1つは帝国書院、2つ目が東京書籍、3つ目が教育出版です。

3つを並べて読んでみたときに、なかなか甲乙つけ難いんですけども、中学校で初めて習う込み入った概念を理解させるという、その工夫点において、東京書籍が一步抜け出ているところがあるかなというふうに感じました。

これは、主体的・対話的という話の一步前の、内容を分かりやすくしているかどうかというところでの話なのですが、例えば、経済がそういった単元に当たると思うのです。価格の設定と変動みたいな話って小学校ではやっていないので、中学校で初めて習う、なかなか難しい項目だと思います。

東京書籍ですと153ページと155ページですが、ここは2か所に分かれているというところがポイントで、153ページでグラフを書かせるんですね。需要と供給について、まず、ここでグラフを書かせてみた上で、155ページで需要曲線と供給曲線が出てきて、需要と供給が均衡していないときに何が起こるのかということが横に書いてあるのみならず、実は、東京書籍だけかなと思うんですが、価格の変動の話がその横に、一番右側にグラフが上下になっているのがありますよね。これ、均衡点の変動することを表していて、価格が変動するということについてきっちり説明しているのは、恐らく東京書籍だけじゃないかなと思います。

帝国書院と教育出版も分かりやすいと思うんですけども、帝国書院の147ページ、これも、そのほかの会社に比べるとかなり分かりやすいですが、東京書籍の場合、最初に数字をグラフ化するという操作が入っているので、実感として分かりやすいです。いきなりこのグラフを出されて説明されるよりも、実際に書かせたほうが

分かりやすいだろうと思います。

同じように、教育出版のほうは151ページになります。これも、ほかの教科書に比べて一段分かりやすくなっているとは思いますが、すけれども、やはり東京書籍のほうが、より工夫がされているなどという、そんな印象を持ちます。

加えて、さらに難しい単元の一つが金融機関の機能であると思うのです。こちらも同じように説明されていて、各社工夫を凝らしているんですが、東京書籍の場合、157ページです。その右上のところに、金融機関が何をしているかということが図式化されていて、投影だと小さくて見えないかもしれませんが。

同じ内容を、帝国書院の場合は150ページに似たような図があるんですが、これはじっくり見ていただいたほうがいいのかもしれませんが、仲介機能、それぞれの企業との関係と、それから市場に対して、何を渡して何をもらっているのかということが、一目で見たときに多分一番分かりやすいのは東京書籍だと思うのです。教育出版のほうは、ちなみに157ページに同じ図が描かれています。ちゃんと2つに分けて書かれているところもポイントで、預けて利子がつくとか、貸し出すと利子をつけて返さなきゃいけないとか、非常に分かりやすい書き方になっていると思いました。

大熊教育長 なるほど。

浅野教育長
職務代理者 はい。ということで、この辺の込み入った事項を分かりやすく砕いて説明するという、その工夫の点で、東京書籍が一步出ているかなという印象でした。なので、帝国書院、東京書籍、教育出版、3つ非常にいいなと思ったんですが、しいて言うならば東京書籍を推すということになるかなと考えています。

大熊教育長 ほかにございますか。

小山田委員 公民では現代社会の課題を学ぶということになりますが、地球環境問題は今大きな課題の一つであり、小金井市も気候非常事態宣言を表明し、環境問題に取り組んでおります。

教科書の展示会アンケートにも、「東京書籍には地球温暖化の仕組みや二酸化炭素の排出量などが図やグラフで分かりやすく掲載され、

こうなっているのは、教育出版でも見つけてみたんですけど、教育出版のものは、少し本市に合わないものかと。よりたくさんの給食を作るための給食センターなんですけど、給食センターは本市に取り入れていませんので、ちょっと違ってしまったかなという。

それから、生活のところを子供たちに問いかけるという内容は、実は全ての教科書にあるのです。これは帝国書院ですけど、この中から探せという感じになってしまっていて、問いを絞り込んで、みんなで考えるというところにはならないのかなという。ほかのところも、実はあることはあるのですよ。経済の入り口、同じところですね。でも、ここは何を考えたらいいのかというのが、「経済の入り口」と書いてあって、問いがぱっと見えないので、全部よく読まないと中身がよく分からない。

それから、日本文教出版もいい感じでいっていると思うんですけど、これを課題としてつかんでいくのは難しいですよ。コンビニの店長だったらどうするかという問いかけのほうが、子供たちの心に火をつけるという意味では一歩ぬきこんでいるかなという気はしますが、いかがでしょうか。その辺も選定の基準にしたいと思います。

ほかにございますか。

穂坂委員

選定資料によりますと、東京書籍、教育出版、帝国書院では「話し合い活動に適した内容がある」となっております。これからの社会を生きていく上で、小金井市の子供たちが対話をする力、いろいろとコミュニケーションをもって話し合いができるような力をつけていかなければいけないかなと思っています。

それと、また専門的なことで申し訳ないんですけども、東京書籍の65ページ、「もっと知りたい」というところに、臓器提供の話とか、尊厳死とか、これから大事なことがいっぱい出ていて、こういうので、また話し合いができればよろしいのではないかと思います。

大熊教育長

なるほど。

選挙権が18歳からになったので、政治のところをちょっと見てみたんですね。そうすると、同じような流れの中の政治のところ、さっきのものと同じようなコラムのつくり方ですけど、育鵬社はこういう感じ。子供の心に火をつけるページはどれかと見ていただき

たいのは、これですね。

それから、教育出版は「みんなが暮らしやすい社会をつくろう」と、これは問いが立っているんですけど、絵から読み込むというのは、ちょっと難しいかなという。

それから、これも教育出版、政治のことに関して、これに問いかけることによって、子供たちが考えるという視点ではいいかな。

これも教育出版ですけど、ちょっと面白いなと思って、18歳から選挙権を持つということは、これに関わることですよね。どういう視点で選んだらいいのかと、先ほどの対話の視点にはなるような気もしまして、こういう主張をしている人がいて、この町だったら誰を選んだらいいのかと考えることは、18歳の選挙権に向けて、1つのウオーミングアップになるのかなと思いました。

それから、日本文教出版は、同じことを言っているのですが、問いかける力としては、市長を選ぶという視点のほうが対話にはなる。全部読み込まないとちょっと分かりにくいところがあるので、1つはこれがいいのかなと感じるところが。

公民は、先ほどもあったように、歴史で思考ツールのあるものを選んだのですが、公民はどれもあるのです。だから、まとめのやり方としては、その辺は甲乙つけ難い。そうすると、教材のページの内容になってくるかと思います。先ほどもいろいろ指摘があったのですが、経済のことについて細かく、一番難しいところを分かりやすく説明しているのは、先ほど浅野委員から指摘があった東京書籍が1つぬきんでているということ。それから、経済を考える視点では、「コンビニ店長」という言葉であったり、市長を誰が選ぶかという問いかけは、子供たちの心に火をつけるのではないか。この辺の教材から東京書籍にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

よろしいですか。

それでは、社会（公民的分野）の教科書は東京書籍に決定いたします。

次に、地図の説明をお願いいたします。

門脇選定

それでは、地図の調査研究の報告をします。全2社になります。

- 副委員長 東京書籍には、地図帳を深く読み取るヒントとなる問い、B e e ' s e y e が設定されており、主体的に学ぶ工夫がなされています。世界の生活、文化を学習する際に役立つ写真資料が盛り込まれていて、地図上の位置関係と関連づけやすいなどの特徴がありました。
- 帝国書院には、地域ごとの名産品や産業がイラストで描かれており、学習している地域の地理的特色と地域的特色を比較的に理解しやすい。日本の環境や防災といった持続可能な社会づくりに欠かせない項目が記載されているなどの特徴がありました。
- 報告は以上です。
- 大熊教育長 それでは、質問のある方はお願いいたします。
- 穂坂委員 この両社の地図帳の構成上、どのような工夫があるのでしょうか。
- 門脇選定副委員長 帝国書院は、単元内で学習する地域の地図を掲載して、単元末にテーマ資料を設定することで、地理的特色と地域的特色を関連づけながら学習できるような構成となっています。
- 一方、東京書籍は、主題図が豊富であり、学習する内容ごとに、各地域の降水量や農業、産業、資源など、様々なテーマで資料を活用することができるようになっています。
- 大熊教育長 なるほど。ほかにございますか。
- 浅野教育長職務代理者 授業での使いやすさということで伺いたいのですが、両社それぞれ授業での使いやすさという観点で何か工夫があれば教えていただけますか。
- 門脇選定副委員長 帝国書院は、特に配色や文字のサイズなどから、地図が見やすくなっております。また、各州、各地方の資料や日本と世界に関わる地図、統計資料が見やすく、活用しやすくなっています。
- 一方、東京書籍は、地図上に旧国名や歴史上の出来事があった場所や遺跡が記載されており、歴史的分野との横断的な学習に活用できるようになっています。
- 大熊教育長 これが見やすさのところですけど、見やすさという点に関して言

うと、じかに見ると分かりやすいのですが、かなり違いがありますよね。細かいところになると、もっと差が。同じことが書かれているのに、全体的に見にくい印象を受けます。東京都のところを見ていただくと分かりますが、この辺、字ばかりになりますよね。こちらのほうが見やすいですよね。その辺のところは見やすさとしてはかなり違うかなという感じはしているところです。

ほかにございますか。

よろしいですか。

それでは、協議に入りたいと思います。どうぞ。

佐島委員

両社それぞれ特徴があるかなと思いますけど、先ほどの御説明も伺いながら、東京書籍には、地図帳を深く読み取るヒントとなる問い、B e e ' s e y eですか、テーマが設定されていて、主体的に学ぶ工夫という点から、いいなと思いました。

それから帝国書院では、統計資料が豊富で、見やすく、各地方や日本と世界に関わる統計資料を活用するという点ではいいのかなと思いました。

大熊教育長

ほかにございますか。

小山田委員

地図帳は、もちろん小学校から学習しているわけですが、選定調査資料には、「帝国書院は、小学校で学習した地図の約束を振り返るコーナーが設けられており、中学校の学習にもスムーズに移行できる」とあります。現在、小学校でも帝国書院の地図を使用していることから、小中の系統的な学習にも役立つものではないかと思えます。帝国書院の地図の巻頭のところに、子供たちが修学旅行の行く先を決めるのに、この辺はしっかりと分かったほうがいいというのは一つありますね。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

両社とも工夫されていて、見やすく仕上がっているなどは思います。その上で、どちらかを選ばなければいけないとすると、やはり帝国書院かなというのが私の考えです。幾つか理由はあるんですが、3つ挙げるとすると、まず一つは、ここまでも指摘されてきたことですが、図の中に文字が配置されたときに、それが読みやすいとい

うことがあるのですね。これは地図にとっては決定的に重要なことで、地名を探すときに、すごく見やすい。同じ情報を載せているはずですが、図と文字が識別しやすく配置されているなと思います。実は文字例が見やすいのは、図の中だけではなくて、巻末に国別とか都道府県別のいろいろなデータのリストが載っているかなと思うのですが、その辺、ちょっと分からないんですが、私自身が実は軽度の色覚異常があって、多分、ほかの方と色の見え方が違っているんで、私、自分の色覚、あまり信用していないんですけども、どっちが見やすいかといったときに、左側が帝国書院です。こっちのほうが見やすいのではないかなという感じはします。なので、図中の文字だけではなく、表中の文字においても、帝国書院のほうが見やすく、探しやすいということがあります。

2点目は、資料が豊富であるということで、先ほど穂坂委員もおっしゃってくださったように、歴史的なものを探すときに、実は帝国書院のほうが、歴史地図が多いのですね。そもそも同じような厚さに見えるのですが、帝国書院の地図のほうが20ページほど多いんです。この多い分の20ページのかかなりの部分が歴史的な資料に使われているのです。したがって、地理的分野と歴史的分野の分野横断的な学習において、とても有用だなと感じました。

それから3つ目、図において、平面上に立体を載せるわけですけども、地球の表現の仕方にかかなりの工夫が見られるなと思いました。例えば、帝国書院の133ページを見せていただけますでしょうか、さっきの関東地方の水系と地形の図ですね。同じものを東京書籍は107ページに載せていますので見ていただくと、ここも私、自分の色覚をあまり信用できないのですが、小金井市のところに、野川があって、湧水の印がついている。小金井市がありますよね、湧水の印、どっちもついていますよね、野川の辺り。それで、帝国書院は色が違っているんですよ。つまり、影が視覚化されている。私の視覚のせいですかね。

大熊教育長

いや、確かに色が違っていますね。

浅野教育長
職務代理者

段差が、帝国書院のほうだけ視覚化されていますよね。

数学まで終わらせて休憩にしたいと思います。それでは、数学の説明をお願いいたします。

門脇選定
副委員長

それでは、数学の調査研究の報告をします。全7社になります。

東京書籍は、單元ごとの「導入」、「展開」、「まとめ」という一連の流れが明確で、学んだ内容を振り返りやすい構成となっています。基礎的な内容から発展的な問いまで網羅されて、身近な題材を導入で扱うなど、生徒が主体的に取り組みやすいなどの特徴がありました。

大日本図書は、各單元が「目当て」、「活動」、「例」、それからアルファベットの「Q」です、クエスチョン、問いの意味の「Q」、「確かめよう」の順で構成されており、段階的に学習し、定着できる配列となっています。單元ごとに、「章を振り返ろう」、「力を伸ばそう」、「確かめよう」という形で、学習到達度別に学習できるようになっているなどの特徴がありました。

学校図書は、章の前に「振り返り」という内容があり、注意事項と結びつけて学習に取り組めるよう工夫されています。課題によって字体や色使いを変え、生徒が興味を持ちやすくなる工夫がされているなどの特徴がありました。

教育出版は、生徒自身が問いを見つけ、その問いを解決し、さらに新しい問いを見いだせるような構成となっています。「問いを見いだす」、「問題をつかむ」、「見通しを立てる」と問題解決のプロセスが示され、話し合いを助ける構成になっているなどの特徴がありました。

啓林館は、單元ごとに段階的に学べるように、「例」、「例題」、「問い」、「練習問題」、「章末問題」が配置されています。章末問題に二次元コードがあり、有用なポイントや詳しい解説を見ることができるといった特徴がありました。

数研出版は、教科書本体とは別に探求ノートが用意されており、教科書の内容を深めるための課題や注意事項を総合的に活用して解決する課題を取り上げていく、対話を多く盛り込み、生徒の話し合いの補助となっているなどの特徴がありました。

日本文教出版は、「目当て」が赤で強調され、單元で学ぶポイントが生徒に伝わりやすい、生徒自身が目標を持って学習に取り組むことができ、二次元コードが多く、補助資料や補助問題が充実してい

るなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方はお願いいたします。

穂坂委員 主体的、対話的で深い学び、個別最適な学び、協働的な学びを実現するという点において、特徴のある教科書はありますか。

門脇選定
副委員長 数研出版は、1年生の教科書でレポートの書き方を説明しており、生徒が主体的に課題を見つけ、思考を深めたことのまとめに活用でき、しかも長期にわたって有効な経験となります。また、教科書の冒頭に、説明の聞き方、発表の仕方、聞き方、話し合い方及びノートのとり方についての説明があり、協働的な学び等を深めさせるに当たり、生徒は、その基礎、基本となることを意識したり、いつでも振り返ったりすることができるようになっています。

大熊教育長 このところですね。ノートのとり方も示されて。
ほかにございますか。

小山田委員 数学的活動を通して、数学的に考える資質、能力の育成というものが求められると思いますが、数学的活動について、特徴のある教科書はございましたでしょうか。

門脇選定
副委員長 啓林館は、教科書の冒頭に、数学の学習への取り組み方や身につけたい力等について記述されており、学びを深めていくために必要な力や方法などを学べるようになっています。また、巻末の「学びを生かそう」では、比較的身近な事例を基に、課題解決に向けた学習が行いやすくなっています。

大熊教育長 その他、質問はございませんか。
それでは協議に入ります。御意見をお願いいたします。

佐島委員 小金井市では、どの中学校でも数学は少人数習熟度別授業となっていますが、個別最適な学びの視点から、個々に応じた指導、習熟に応じた指導というのが必要になってくるとは思いますけれども、先

ほど御説明もございましたが、数研出版は、二次元コードを活用した問題や巻末のチャレンジ編など、個に応じた学びができるということとか、対話を多く盛り込んでいるとか、なかなかいいところなのかなと思いました。

大熊教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

小山田委員 数学の学習というものは、問題を解くというイメージになりがちだと思うのですが、事象から数学の問題を目指して、それから問題を自立的、協働的に解決していくという数学的活動を充実させていくという必要が小金井市の子供たちにはあるのではないかと思います。そのためには、啓林館、大日本図書、数研出版には、巻末などに数学的活動を取り入れた問題がありまして、生徒の主体的な学びにもつながると思います。

大熊教育長 今指摘された教科書会社は、いわゆる応用問題だけではなくて、発展的な問題として数学を使えるようになっていきますね。それは私も確認しています。ほかにございますか。

穂坂委員 生徒の主体的な学びのために、いろいろな学んだことを生活に生かしていくことは、大変重要かと思えます。それぞれの教科書で生活に関連するような問題を扱っているんですが、数研出版は「学んだことを活用しよう」というコーナーがありまして、より広い範囲で面白い題材を扱っていると思います。例えば3年生の234ページですかね、例として花火の例があるのですが、花火を打ち上げた地点までの距離を考えさせる問題で、比例の問題として扱っております。少し見にくいと思いますが、光の問題と音の速さとかとあるのでしょうか、これは面白いなと思いました。

大熊教育長 これはとても大きな問題で、私もこのことは気がついたのですが、「学んだことを活用しよう」という題になっているのです。ほかの教科書を全部比べて見たいと思いますが、これは「学んだことを活用し」、ほかのところは大体同じ題ですけど、「どこまで見えるか調べよう」、学びに向かう力で、どこまで見えるかという問題になっているのですね。これ、実を言うと、問題の延長線上にあることに

なりますね。さっきのは、「学んだことを活用しよう」ということになっています。どの会社かという、日本文教出版が今の話で、学校図書は「Q」と書いてあるのです。これは三角形の三平方の定理を使ったときに、さっきも三平方の定理ですけど、「Q」の扱いですね。そうすると、発展ではなくて問題として見られる可能性もある。これも同じ高さを表すもの、「どのぐらい遠くまで見渡すことができるか」という問いになっているのは教育出版です。啓林館は「富士山の頂上から見渡せる距離は」という形になっていて、これも問いの形になっているのです。大日本図書は、「三平方の定理の利用」という形になっていて、利用を促しているんですね。数研出版だけは、「活用しよう」という主体性がちょっと見えるなという感じもするのですが、いかがでしょうかね。ちょっとした言葉ですけど、やらされるのか、自分からやるのかというところは、こういう小さいところに差があるのかなという気はしていて、子供の立場に立ってみると、自分から進んでやってみたいのか、先生がQを出して、それを解くのかという、これは大きな違いがある気がします。今のところがその例だったかなと思います。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

小学校から中学校に上がったときに、やはり段差が非常に大きいのが算数から数学への移行だろうと思うのですね。その点で、小学校で学習した内容の連続性をきちんと明示しているということが大切かなと思うんですが、その点から言うと、1つは東京書籍で、学びのまとめみたいなのところがあって、小学校の学習内容が触れられていて、連続性が意識できるようになっています。

もう一つは数研出版で、こちらは巻末のまとめになりますでしょうかね、1年生のまとめのところ、小学校の学習内容の振り返りがあって、そちらを見ながら、中学校でやっていることに関係をつけながら学習を進めることができるような工夫がなされています。この辺、小学校との連続性をきちんと考えているということで、この2社がいいかなと思いました。

大熊教育長

不登校の子供たちの実態を踏まえると、何ができなくなったときに自分は駄目だなと思うようになるかと言うと、実を言うと、数学が一番大きな壁になるとされています。そういう意味では、小学校

から中学校への段差を少しでも少なくすることを工夫されている教科書というのは、子供にとってもいいことだろうなと思います。

その他、御意見はございませんか。

内容的にはどれも優れていると感じるのですが、子供たちの実態を踏まえたとき、小学校、中学校のスムーズな移行をかなえているもの、それともう一つは、主体的な学びを実現するという意味で、一つ一つが終わった後に全部あるんですけど、「学んだことを活用しよう」この言葉の中にありました。その学んだことを生かして新しい問題に挑戦するという形の問いかけになっている数研出版が小金井市の子供たちには合っていると思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

それでは、数学の教科書は数研出版に決定いたします。

まだ半分もいっていないのですが、ここで10分間の休憩にしたいと思います。開始時間は3時50分といたします。

休憩 午後3時40分

再開 午後3時50分

大熊教育長

それでは、時間になりましたので、再開したいと思います。

次に理科の説明をお願いいたします。

清水選定
委員長

それでは、理科の調査研究の報告をします。理科は全5社になります。

まず、東京書籍になります。2年、物理分野が電流の正体から始まっているため、その後に学習する電流のイメージを持ちやすくなっています。また、画像や図が多く、視覚的に理解しやすいものになっているなどの特徴がありました。

続いて、大日本図書です。章の初めに、2ページにわたって振り返りができるようになっていまして、小学校の学習との接続が円滑にできるよう、工夫されております。また、単元末の探求活動や各単元内のやってみようにとって、身近な話題や材料、道具を利用して、家庭でも再現可能な実験が掲載されているという事情がありま

す。

続いて、学校図書ですが、グラフや表などの資料が多く掲載されている点だけでなく、資料を基にした応用的な学習を進めることができるようになっていきます。また、巻末に思考を深める問題が多く掲載されているといった特徴がありました。

続いて、教育出版です。教育出版は、ボルタ電池等にも積極的に触れており、科学の発展の流れを意識しやすいものとなっています。また、文章の間隔が広く、文章を読むことを苦手と感じている生徒にとっては読みやすい教科書であるという特徴がありました。

啓林館ですけれども、啓林館には、巻末に資料として、発展内容や実生活とのつながりについてまとめられていまして、理解の意欲を喚起できる内容となっています。グラフや表などの資料が多く、掲載されている実験だけでなく、資料を基にした応用的な学習を進めることができるなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長

それでは、質問のある方、お願いいたします。

佐島委員

理科では、科学的に探求する力を養うことが求められていますけれども、単元構成や教材の扱いなどにおいて特徴のある教科書はありますか。

清水選定
委員長

学校図書は、各ページに掲載された二次元コードを読み取ると、ミライ教科書というサイトで教科書本文を見ることができます。また、内容に関連した動画があり、学習に取り組みやすい工夫がされています。

また、大日本図書では、基本操作、発展学習において二次元コードが掲載されていて、この二次元コードを読み取ると、実験器具の基本操作や発展学習の内容、そういったものの動画があって、見ることができて、学習に取り組みやすくなるような工夫がされています。また、単元構成においては、学年ごとに発達段階や理科室の仕様に考慮して、分野が重ならないように解説されています。

大熊教育長

ほかよろしいですか。

浅野教育長 科学的な環境にとっては、観察と実験というものが非常に大切になってくると思うのですが、その点から見て何か特徴のある教科書はありましたでしょうか。

清水選定 学校図書の実験や実習などの探求活動では、気づき、そして、課題設定、それを受けての仮説を立てた中で、検証、計画、結果、考察、それを振り返って伝える。そしてまた、次の次、気づきにつなげるといった探求の方法が示されています。

教育出版は、課題から計画、実験、結論という流れで、観察、実験を行うようになっていきます。計画のところでは、小学校などで学習した既習事項を思い出すことができるようになっていきます。

大熊教育長 その他、質問はございませんか。よろしいでしょうか。
それでは、これより協議に入ります。御意見をお願いいたします。

小山田委員 大日本図書ですが、コラム等で実生活に関連した内容を扱っています。授業で学んだことを生かして、復習や発展的学習に活用することができると思います。

それから、学校図書ですが、こちらは補充資料が巻末に非常に豊富に掲載されておりまして、発展的な内容や身近な例など、たくさん取り扱われております。こういったものは生徒の関心を高めることができると思います。

大熊教育長 ほかにございますか。

穂坂委員 各社とも二次元コードを活用しているのですが、理科の実験や観察では動画などで確認できることが理解を深めるに当たって必要なことかと思っております。特に学校図書は、多くのページに二次元コードがあり、学習の参考にできるのではないかと思います。昔の教育を受けた私としては、リアルタイムじゃないけれど、動画が見られるというのはすごい目にも頭にもいいんじゃないかと思います。

大熊教育長 そうなんですよ。子供の認知の特性を調べてみると、文字情報が取りやすい子もいれば、図形情報が取りやすい子もいて、そういう意味では、また、動画が頭に入りやすい子もいるわけですから、

その点では、動画等の教材がしっかり充実しているということは大事なことかなと思います。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

私自身は理科が苦手だったので、あまり言う資格はないのかもしれませんが、中学校の指導要領を踏み越えた内容に触れている教科書が幾つかあって、むしろそれが理科に対して興味を持たせる、いきっかけになっているのではないかなと思いました。その点では例えば啓林館は、高校だろうと思われる理科の学習内容に触れていて、特に理科が好きな子はとてもいい刺激になるんじゃないかと思えます。

もう一つは、学校図書で、私は初めて知ったんですが、ダニエル電池という、自分で電池を作ることができるので、そういったことを紹介されており、あと、理路整然というタイプで、コラムが幾つか載っていて、読んでいて、単純に非常に面白くて、文系の人間にとってもとても面白く読んで、理科に興味を持てるようになるのではないかなと思いました。啓林館と学校図書ですね。その点で面白いかなと思いました。

大熊教育長

ほかにございませんか。

佐島委員

小金井市が目指す、主体的な学びを実現するという観点からは、何より探求的な学習が大切ではないかなと思います。各社の教科書を比べてみると、探求的な学習の過程に違いがあるように思うのです。例えばなんですけど、3年生の酸、アルカリとイオンのところを見てみると、東京書籍、大日本図書および啓林館では、1ページに目的から方法、結果、考察までを示していて、探求的な学習という観点からは、もう結論まで出してしまうと何かちょっとどうなのかなと、いうふうに思うところはあります。

学校図書ですけれども、これでは、気づきから課題を設定して、仮説、実験、考察というふうに進んでいます。いわゆる探求学習の学習過程となっていて、その辺、教育出版も課題から計画を立てるという学習過程になっています。その両者で見ることができそうですが、そのように、実験方法について計画を立てる学習過程もあることで、主体的な学びにつながるのではないかなと考えます。

さらに、学校図書では、仮説を立てている。仮説を立てるというのはやはり探求を深めていくという意味でとても大切ではないかなと思いますので、私の中では、学校図書がいいのかなと思っているところです。

大熊教育長

そうなんです。今のところと、いわゆる実験に入るときにどのように教科書が記述されているかというふうに見ていった場合、これは学校図書ですけど、気づき、課題、仮説、計画となっているのです。これは、東京書籍は、ステップ1、ステップ2、ステップ3という形になってしまっているのですよね。中に書いてあることは実はそういうことが書いてあるんですけど、そういう形になっている。

それをほかの教科書で見ると、単元は違いますが、教育出版は、目的、準備、方法、結果というふうの一つにまとまっているのですが、こういう結果を記録するという、例えばここでいくと、緑色に変化した水溶液から水を蒸発させるとどのように物質が残ったか。これを調べなさい。結果はどうになりましたかというのを書くことになってしまっており、最後まで見通しができてしまいます。見通しができるということはいいことですが、どうなったらいいかというのを考えた場合には、仮説を立てるという、このところが一つ重要ではないかなと思うのですが、ほかのほうも見てみたいんですけど、ほかはどうでしょう。

ほかのところも実を言うと、4のところ、酸性、アルカリ。これはすごく大事な視点だと思うのです。これはちょっと違いますが、調べるということになっているのですね。大日本図書は、実験の結果が、装置を組み立てる、電圧を加える、塩酸を加える、何をする、何をするとなっていて、順番が書かれている。違いますよね。

あともう一つ。これは目的、方法なんです。そうすると、子供たちが主体的に学ぶということを考えると、この気づきがあって、課題があって、仮説を立てて、計画を立てて、その次のページに方法を考えるというふうになると、子供たちは、教科書をめくっちゃうかもしれないんですけど、どうやったら実験をできるかなと考えさせるということはできるのかなと思うのです。

こういう順番を取っていることが、課題解決の王道になると思うのですが、その点、どうでしょうかね。

浅野教育長 今おっしゃられたことは、科学的探求全般に通じる手順だと思
職務代理者 いますので、非常に重要なポイントだと思いました。

大熊教育長 別な言い方をすると、授業を進めていくには仮説を立てていると
思うのですが、教科書の中でもそれがしっかり提示されているとい
うことは、この順番で授業が進んでいくということになりますよね。
小金井市の先生たちは、しっかり仮説を立てさせ、実験をやっている
かもしれませんが、教科書を見たときにその答えが書いてあると、
子供たちは先にそれを見てしまい、仮説を立てなくなると思います。
こういう形で進んでいくということの一つの実験のパターンとする
ならば、ここはそれを示しているのは学校図書だけですので、小金
井市の子供たちにとっては、この理科の進め方がいいのではないか
なと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 よろしいですか。それでは、科学的探求を進めるためにふさわし
い、小金井市の子供たちにとってふさわしいということで、学校図
書に決定いたします。

次に、音楽一般の説明をお願いいたします。

門脇選定 それでは、音楽（一般）の調査研究の報告をします。全2社になり
副委員長 ます。

まず教育出版には、楽譜の中に、A、B、C、Dと記号が振られ
ており、途中から練習する際に指示が出しやすくなっています。音
楽史の学習をする際、議題ごとの特徴が分かりやすく説明されてい
るなどの特徴がありました。

教育芸術社には、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解
しやすい教材や、思いや意図を持って表現するために必要な技能が
無理なく身につく教材が適正に配列されています。話し合ったこと
を教科書に書き込めるようになっている。意見交換する際に使いや
すいなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方、お願いいたします。

小山田委員 音楽には、表現や鑑賞の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音楽と豊かに関わる資質能力を育成することが求められていると思いますが、音楽と豊かに関わるという点において、それぞれにどのような工夫がされていますでしょうか。

門脇選定
副委員長 教育出版では、郷土の様々な民謡が仕事歌や祝い歌など、昔から生活や社会と密接に結びつきながら、現在まで語り継がれていることを地図や分類で分かりやすく紹介しています。また、音楽の力で人と社会を未来へつなぐでは、アウトリーチの説明があります。音楽が生活や社会の中で豊かに関わっていくことが学習できるようになっています。

教育芸術社では、1年の「日本の民謡」、2・3年の「受け継ごう、郷土の祭りや芸能」で、人々の暮らしから生まれた民謡や芸能を内容別に写真と地図で紹介しています。また、生活や社会の中の音楽で、社会の中の音楽に関わる仕事を紹介されており、医療や介護の分野で音楽が活かされていたりと、音楽とSDGsについて写真つきで説明されていたりします。

大熊教育長 よろしいですか。ほかにございますか。

佐島委員 歌唱表現についてはどうでしょうか。歌唱表現の工夫等について特徴があれば教えてください。

門脇選定
副委員長 教育出版のほうでは、「sing sing」というコーナーで、1年は、歌唱技能、2年で、歌うための準備について扱っています。また、「ACTIVE!」のコーナーがワークシートになっており、創意工夫したことを記入できるようになっています。

教育芸術社では、「MY VOICE」の発声面の技能や変声期の注意点について扱っています。3年の「MY VOICE」では、豊かな声で気持ちを込めて歌おうとして、姿勢や呼吸、息の流れ、響かせ方が図で説明されており、学年が上がるにつれ、発達段階に応じた内容となっています。また、学びのコンパスがワークシートになっており、音楽を形づくっている8要素を使って、どのように歌いたいかを考え

させ、歌唱表現を創意工夫できるようになっています。そのほかにも、歌唱表現をする際に必要な音楽を形づくっている要素についてイラストと楽譜で示されており、学習や1年間の振り返りを行うときに活用できるようになっています。

大熊教育長

ほかに御質問ございますか。よろしいですか。

それでは、これより協議に入ります。御意見をお願いいたします。

浅野教育長
職務代理者

私は音楽も大変苦手でしたので、なかなか言いづらいですが、私が受けた音楽の授業と、教育委員の学校訪問で拝見させていただく音楽の授業で、すごく違うなと思うことの一つは、対話というのが授業の中に行われていることだと思うのですね。音楽の授業でもやっぱり対話するんだなというのが私にとっては驚きでした。そういう観点から見たときに、教育芸術社だと思うんですが、話合いについて教科書に書き込むことができるようになっていたかと思うのですね。対話を意識した教科書づくりというのがここは大切になってくるのではないかなと思いました。

大熊教育長

こういうところですね。私は音楽にはトラウマがありまして、合唱のときに、「大熊、歌うな」と言われて、そうしたらぴったり音が合ったという経験は絶対に忘れません。随分違いますよね。

すみません。私的な話をしました。ほかにございますか。

穂坂委員

教科書の展示会のアンケートには、教育芸術社のイラストが今風で、楽しみながら学習に取り組めるのではないかと思います。調査資料にも楽しそうに音楽活動をしている表紙になっているところ、生徒がより一層音楽に親しみを持つことができるのではないかと感じております。教育長と同じで、私も音楽が苦手でした。余計な話ですが。

大熊教育長

いや、本当に私が歌わなくなったらぴったり音が合ったんですよね。これはショックでした。市民の方の意見の中で、親しみがあるというのが教育芸術社の教科書ですね。ほかにございますか。

佐島委員

選定調査資料を見せていただきますと、教育芸術社には音楽に関

わる様々な人からのコメントやアドバイスだったり、音楽以外の芸術や人々と音楽の関わりに関する内容があったりして、生徒の視野を広げたり、興味、関心を引いたりするものになっているというふうにあります。例えば教育芸術社の1年生の最初を見せていただくと、上白石萌音さんという、中学生であれば誰でも知っている人が出ていたり、1ページめくっていただくと、野口聡一さんという方の音楽との関わりみたいな紹介をされているのですね。こういうコメントとか内容を見る中で、生徒自身が、音楽を身近なものと感じていけるようになるのかなと思いました。

大熊教育長 もう1社はこういう写真です。そんなところの違いがあるというのは確かなことです。

ほかにございますか。

小山田委員 ちなみに、私は音楽が大好きでした。

大熊教育長 佐島委員はどうだったのか、聞いてみたいですね。

佐島委員 私は合唱部です。

大熊教育長 これは大分違いますね。お二人の意見をお伺いしたい。

小山田委員 すみません。その2社を比べるときにまた一つ具体的な事例で示したいと思ったのですが、それぞれ2・3年の下巻ですかね。ポピュラー音楽の図鑑、ポピュラー音楽のコーナーみたいなのがそれぞれあるのですね。この中の表現のところを見ますと、教育芸術社のほうが海外編と、その後、日本編ということで、ジャンルがいろいろ発展して行って、こういうところと関係しているとかすごく体系的に見て分かって、マイケル・ジャクソンの写真があったり、皆さん、身近に、自分が好きな音楽がどういうジャンルなのかなというところで、つながっているのかなというようなことも主体的に学べたりするのではないかなと思います。

もう1社のほうは、一応ジャンルが書かれておりまして、その次のページですね、ここにはビートルズ、プレスリーとかが書いてあります。その後、日本と西洋の音楽の歩みみたいな感じで、上が

日本の歴史、時の流れで、下には西洋と書いてあります。これはこれで、歴史的な流れというのは分かるのですが、音楽の関連性というか、それぞれのジャンルの関連性みたいなところでいくと、今の中学生は、こちらのほうがより身近に感じて、興味を持ったところをもっと深く学んでみたいと思うのではないかと思います。

ですから、教育芸術社のほうがより今の中学生の皆さんたちの興味を引くような構成になっているのかなと思います。

大熊教育長

なるほど。その他、御意見はございませんか。私も非常に興味を持った内容でした。音楽の楽譜はどういうことを選んでいるのかという、何がいいかということについては、文部科学省が検定でいいと言われたので、どの教材が入っているかどうかということでは比べられないと思うのですが、小金井市の子供たちが身近にある音楽を自分とすごく、音楽と身近にある音楽をつなげることというのはすごく大事ではないかなと思っていて、私自身も学校の音楽と自分が聞いている音楽は別物と思っていたところがあるのですが、これはまさにつなぎ役になるのではないかなと思います。その点では、この教材のあるのは教育芸術社です。音楽を身近に感じるということにおいて、中身ではなくて、興味、関心を高めるという意味では、教育芸術社のほうが一步進んでいると思いますが、皆さん、どうでしょうか。

小金井市の子供たちにとって、私たち以上に音楽は身近にあるので、学校で学ぶ音楽はそれと近いものであります。それとつながっているものであるということを実感することはとても大事なことでと思いますので、音楽一般の教科書は教育芸術社に決定でよろしいでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

それでは、音楽（一般）の教科書は教育芸術社に決定いたします。次に、音楽（器楽）の説明をお願いいたします。

清水選定
委員長

それでは、続いて、音楽（器楽）の調査研究の報告をいたします。器楽も2社になります。

まず、最初に教育出版です。短く優しい曲から内容の高い曲が掲

載されており、発達段階に応じて曲の選択ができるよう工夫されています。また、ギターのコード表で、全てのコードの押さえ方が写真で掲載されており、生徒にとって分かりやすい構成になっております。

続いて、教育芸術社です。こちらのほうは、前半は個人練習、後半は合奏曲が掲載されていて、個人からグループ活動という展開がしやすい構成になっています。また、学校の実態によっては、授業ではなかなか使えないような楽器の写真や演奏方法の資料が多く、様々な楽器に興味を持ちやすい、そんな特徴があります。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方、お願いいたします。

小山田委員 器楽の活動を通して、器楽表現に関わる知識や技能を得たり、生かしたりするということが求められています。知識技能の習得、活用という点においては、それぞれでどのような工夫がされていますでしょうか。

清水選定
委員長 教育出版では、ギターのコード表で、全てのコードの押さえ方、写真が掲載されていますので、写真を用いて、楽器の構え方、演奏方法が見て分かるようになっています。

教育芸術社のほうでは、全ての練習曲の伴奏や、紹介されている楽器の演奏方法、構え方などが二次元コードで確認できるようになっています。また、レッスン1、レッスン2と段階を追って技能の習得ができるような工夫が見られます。

大熊教育長 ほかにございますか。

穂坂委員 器楽の活動を通じて、曲にふさわしい器楽表現の創意工夫、それから、創作活動を行う必要があると思います。創意工夫や創作活動という点において、どのような工夫がされていますか。

清水選定
委員長 教育出版のほうでは、箏で前奏の創作活動のページがあり教科書に書き込めるようになっています。また、速度や強弱などグループで創意工夫して表現する曲が掲載されています。

一方、教育芸術社のほうは、箏で日本音階を使って旋律を創作し、教科書に書き込めるようになっていきます。日本音階の楽譜も紹介されており、参考にしながら創作できるようになっています。また、学びのコンパスでアーティキュレーションの工夫、パートの役割、音の重なり方の特徴など、仲間と話し合いながら創意工夫して表現できるようになっています。

大熊教育長 なるほど。よろしいですか。それでは、これより協議に入ります。御意見をお願いいたします。

穂坂委員 両者ともクラシックからポップスまで多様な教材で、本当に面白そうだなと感じておりますが、我々の頃と全然違うと改めて実感しております。

大熊教育長 本当にそうですよね。これは改めてびっくりします。ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者 選定資料のほうで、教育芸術社のほうでしょうかね。鑑賞で扱う題材が器楽のほうでも掲載してあるということで、両者の関係がつけやすい、両者の活動を結びつけやすいというのが非常に大きなメリットかなと思います。その点も含めて、音楽一般の教科書との連動というか、連携ということも考えると、教育芸術社のほうがいいのかないというふうに私としては思いました。

大熊教育長 そうですね。ほかにございますか。

小山田委員 まず子供たちがいつも最初にリコーダーをやると思うのですが、リコーダーは、教育芸術社のほうはソプラノリコーダーとアルトリコーダーの両方の楽譜がもう最初に載っています。中学校でもソプラノリコーダーを使う学校があると考えたら、やはり両方の楽譜が最初にこのようにあるほうが、使い方としてはよいのではないかと思いました。

ほかの音楽を合わせるときのコツみたいな、こういったところもありますし、それこそみんなで対話しながら一つで演奏というのでもできるような、教育芸術社のほうが器楽はよろしいかと思いました。

大熊教育長 なるほど。ほかにございますか。

佐島委員 音楽の授業、器楽の授業でも学習内容に興味、関心を持つということはすごく大切ではないかなと思っています。先ほどの説明で、教育芸術社は、学校の実態によっては授業でなかなか扱えないような楽器の写真とか演奏方法の資料が多いというような御報告がありました。そのような観点から、やはり生徒が興味、関心を持ちやすいというふうに思います。

大熊教育長 ありがとうございました。ほかにございますか。

先ほど浅野委員が御指摘いただいたように、器楽と音楽一般の教科書が共通しているというのが感想のところもありますので、大きなメリットがない限り、同じ会社を選んだほうがいいのではないかなとまずそのように思います。

つい最近からギターを始めてみて、50の手習いじゃないですが、教科書にギターの押さえ方が書いてあれば、私はもっと前からギターをやっていたなと思いました。やっている本人から見ると、どちらのほうの方が分かりやすいかというと、実は実際の写真より、この写真が出ているやつ、これですね。どうやって押さえたらいいかという、手がこうやって示されているのですが、押さえ方は分かりやすいかなという気がしました。それが自分の個人的な考え方です。でも、今、御指摘のように、大きな違いがなければ、教科書は統一したほうがいいと思いますので、先に選定した教育芸術社を選定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 それでは、音楽（器楽）の教科書は、教育芸術社に決定いたします。

次に、美術の説明をお願いいたします。

門脇選定 それでは、美術の調査研究の報告をします。全3社になります。

副委員長 まず開隆堂には、参考の生徒作品が偏ることなく、様々なものが掲載されていて、広がりがあるのが1点。図版が大きく、二次元コ

ードがついているので、すぐに動画や参考作品を見ることができません。そういう特徴がありました。

光村図書のほうでは、中学生の制作に対する思いなどを載せている。現代の表現を身近に感じることができる。トーンや色相による配色を実例とともに取り上げているなどの特徴がありました。

日本文教出版には、歴史的な授業から、生徒の身の回りの製品やコンテンツなど、幅広い題材を扱っています。日本の世界文化遺産を取り上げており、資料や図が大きいので見やすいなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方お願いいたします。

穂坂委員 美術での学習における創造活動によって喜びを味わい、心豊かな生活を創造する態度をはじめ、豊かな情操を培うことができるのかなと思いますし、味わいたいと思っておりますが、創造活動という点において特徴のある教科書はありますでしょうか。

門脇選定
副委員長 開隆堂が該当します。生徒が発想を豊かにし、自分の手でつくりたくなるような内容になっています。また、参考の生徒作品が偏ることなく、様々なものが掲載されていて、広がりがあります。技法の動画や生徒作品の紹介が二次元コードを活用して掲載されており、生徒は自宅でも振り返りやすいと考えます。

大熊教育長 ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者 中学校の美術では、日常生活の中で、美術とか文化に豊かに関わっていくという資質や能力を育成することが期待されていると思うのですが、そういった点で何か特徴のある教科書はありますでしょうか。

門脇選定
副委員長 それに関しては光村図書が該当すると思われれます。社会問題や生活などに触れ、美術と社会との関わりについて考えられる内容になっています。また、日本絵画の紹介ページに和紙が使用されるなど、素材に対しての工夫があります。二次元コードが各題材についてお

り、音声ナビ、高精細画像など、その内容も充実しています。

大熊教育長 今の点を少し見たいと思います。2・3年生の光村図書の教科書の日本の絵が紹介しているところは和紙が使っているのですよね。それで、一番目を引いたのが鳥獣戯画です。ここが実物大、原寸大と書いてあるのですよ。小学校の教員でしたので、鳥獣戯画は国語の教科書に出ていたのを記憶しておりますが、小さかったです。こんな大きいとは思いませんでした。この質感と見た目が本当に子供たちの心を引くものになるのではないかなという感じがしました。ほかにございますか。

小山田委員 どの教科書を拝見しましても、本当に多彩な作品が掲載されておりまして、生徒の興味を引く内容となっていると思います。教科書展示会のアンケートにもあるのですが、どれも楽しく取り組むことができる作品ではないでしょうかとありまして、本当に甲乙つけがたいかなと、アンケートからも見受けられます。ただ、さっきの和紙は私も思いましたが、和紙がここにあるというのは、手で触ってみても違いがわかって、本当に日本の絵画という観点では引かれるものがあるかなと思いました。

大熊教育長 ほかにございますか。

佐島委員 生徒が主体的に作品づくりに取り組むためには様々な工夫が必要かなと思うのですが、光村図書にはそういう工夫が幾つかあるのかなと思いました。一つは、中学生の制作に対する思いというのを載せてある。それから、そういう中で同世代の表現を感じることができるようになっている。また、身の回りの自然や材料から発想する教材というのがあって、子供たちが身近に感じて、興味、関心を引く内容となっているのかなと思いました。

大熊教育長 なるほど。これは美術の教科書は見るだけで楽しいんですよね。いつの間にか見入っていましたが、本当にいろんな作品が提示されているのがよく分かりました。ほかにございますか。

穂坂委員 先ほどから、原寸大という表示がありますように、実物に近いも

のを身近で見られるということは、いろいろな意味でよろしいかと思えますし、光村図書は作品の発色等がよく見えるようになっていと思います。例えば1年生の40ページですけど、開隆堂の1年生の27ページで、同じ風神雷神の写真があるんですけど、大きさが全然違います。

大熊教育長 見たほうが分かりやすいですね。

穂坂委員 それに和紙を使っている。

大熊教育長 こちらが開隆堂、こちらが光村、発色が違いますよね。

穂坂委員 だから、これを見ると、やはり光村図書かなと思いました。

大熊教育長 子供たちの心に火をつけるというのは、まさに作品に魅力を感じることだと思います。そうすると、こういうところに注力しているという教科書は子供にとっても必要なのかなと思います。
ほかにございますでしょうか。

浅野教育長 私も同じ印象で、光村図書の先ほどの和紙を使った、本当に力が入った表紙だと思うのですが、これは生徒たちにとってはインパクトの大きいものだろうなと思います。他方、開隆堂のほうも工夫があつて、ちょっと面白いなと思ったのは、2・3年生、これですね。これは見るだけでは分かりづらいんですけど、表面がデコボコと言うんですか。エンボスというか、触って、手触りで分かるような感じのつくりになっているんですね。こういう工夫も非常に好ましいものであるなというふうに感じました。

大熊教育長 これはデコボコになっているのですよ。初めはこれいいなとすごく思いました。和紙にはかなわないですけど。さっきの風神雷神の発色みたいなものは魅力的で、そういうものから興味を持って美術にのめり込んでいくという子供もいるのではないかなと思います。内容を細かくすると、専門的ではないので、その点は分からないのですが、私どもが見ていても魅力的な作品に見えるということは、子供たちにとっても、美術の扉を開けて、自分たちが中に入ってい

こうとするときのきっかけにはなるのではないか。その点では、光村図書の工夫が小金井市の子供たちには合っているんじゃないかというふうに思いますので、光村図書でいかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 それでは、美術の教科書は光村図書に決定いたします。
次に保健体育の説明をお願いします。

清水選定 それでは、保健体育の報告をいたします。保健体育は全4社になり
委員長 ます。

まず東京書籍の教科書ですけれども、章の始まりで、保健体育の職業として、保健体育で学習したことを社会に還元している人がいることを紹介している。学習の意味を感じられる、そんな構成になっております。また、グラフや挿絵を多く用いて、視覚的にも資料が理解しやすいように工夫がされているのが東京書籍の特徴となっております。

続いて大日本図書ですけれども、トピックスがふだん疑問に感じるような内容に触れていて、考えるきっかけを与えてくれるような内容になっております。また、つかもう、やってみよう、活用して深めようというところで、学習の構成が整っているというのがこの教科書の特徴になっております。

続いて大修館ですけれども、性の多様性やハザードマップなど、コラムや資料が充実しているというのが特徴の一つです。また、さらに学習したいときは、ページの下の方、ページ下部の「ほり下げる」や「保体クイズにトライ」というところで、個に応じた学習を選択できるというところが特徴になっております。

4社目の学研です。学習の課題については、分かると考えるとなっていて、評価の観点からもとても分かりやすい、そんな構成になっております。それから、巻頭の体育理論、保健、防災教育に関する写真がとても見やすいというのが特徴として挙げられます。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問ある方どうぞ。

佐島委員 主体的・対話的で深い学びの実現という点において、特徴のある教科書はありますか。

清水選定委員 重複するところはあるのですが、東京書籍では、章の始まりで、保健体育の職業として、学習したことを社会に還元している人の紹介というのがあって、自身の関心を主体的にキャリア教育につなげていけるようになっています。

また、大日本図書では、資料や文章が豊富にあって、生徒の学びを深めることにつながっていくと思われま。

大熊教育長 よろしいですか。ほかにございますか。

穂坂委員 心の健康を保つという意味では、欲求やストレスに適切に対処する必要性があると思います。心の健康という点において特徴のある教科書はございますでしょうか。

清水選定委員 東京書籍は、SDGsや多様性への理解などが充実していて、ノーマライゼーションの観点に立って、心の健康について考えられています。

また、大修館では、色合いがパステルカラー調で見やすく、安心感のある紙面となっています。

大熊教育長 よろしいですか。今のことについて付け足しをさせていただきたいのですが、今、小金井市の不登校は、全国に比べると若干少ないものの、かなり急激に伸びており、そのときに子供たちが、御指摘あったリラックスすること、欲求やストレスに対してしっかり対応していくことが重要だろうと思ひまして、もう1回、全部の教科書を見てみました。ストレスの対処方法というのはリラクゼーションという形で、全部の教科書に呼吸法を試みたり、リラクゼーションの方法としてあるのですが、この大日本図書、学研、大修館の3社に共通しているのは、こんなことをやってみましょうという、一つ一つの活動が示されています。

1社だけ、今までのストレスの対処方法と違う流れを示しています。子供たちにとって有効なのは、こういう一連の流れの中でリラクゼーションしていくということが一つ大切なことなのではないか

なと思っていて、今の子供たちの実態を考えると、欲求やリラクゼーションのことについてしっかりとした記述があるというのは1ポイント高いかなという気はします。

それでは、協議に入りたいと思いますが、御意見をお願いいたします。

浅野教育長
職務代理者

2点申し上げたいことがあります、1つは応急手当です。これはどの社も応急手当についてイラストや資料を豊富に提示しているんですけども、特に大日本図書だったと思うのですが、多分、大日本図書が一番大きく見開きで写真を用いて、分かりやすく説明していたので、これは一つ評価すべきポイントかなと思いました。何ページでしたかね。見開きで。

大熊教育長

本当だ。全然違いますね。小金井市の中学生全員は、実は卒業するまでに全員が救急講習を受けるのです。だから、こういうことはみんな経験しているんだと思うので、こういうことがしっかり書かれているやつは一つポイントがあるかなと思いました。

浅野教育長
職務代理者

それが1つ目のポイントで、続けてですが、体の発達、心の発達の記述の中に、きちんと確認しきれていないのですが、性の多様性について明記しているのは恐らく東京書籍だけかなと思いました。東京書籍の51ページです。生殖器官の発達、いわゆる思春期の性についての記述はどの教科書にもあるのですが、異性に対する関心が高まりといったような記述が実は結構あって、それはもう少し慎重に扱うべき事柄かなと思ひまして、その点、東京書籍は、性の多様性ということで、明示的に取り上げておりまして、非常に評価すべきポイントだなというふうに個人的には考えました。

大熊教育長

そうですね。異性への関心が高まったりという言葉に書かれている。これはそうですね。ここは気がつかなかったな。

浅野教育長
職務代理者

異性など書かれている箇所もありました。

大熊教育長

その辺は子供たちにしっかりとした情報を提供するという事は

教科書にとって重要ですので、その点をしっかり見ていきたいと思
います。ほかにございますか。

佐島委員

私は、不登校に関する問題というのは本当に今、危機的な状況で、
すごく関心を持っているところなんですけども、先ほど教育長が御
紹介していただいた部分、あえて重ねて意見を申し上げたいと思う
んですけども、やっぱり登校への不安という、そういうストレスの
対処とか睡眠とか健康について学んでいくというのはとても大切な
ことではないかなと思います。そういう点から、先ほど紹介してい
ただいた東京書籍が流れとしてそういうストレスへの対処、リラク
ゼーションを学べるのはとても大きいなと思いました。

大熊教育長

ここですね。私も実は心のケアキャンプとして、福島県で被災し
た子供たちのためにキャンプをやっていたのですが、そのときに、
心のケアを専門とするカウンセラーが一緒についていて、その人た
ちがこのようなことを教えてくれました。被災して、何となく気分
が落ち込んでいそうな子供たちが、キャンプ場に来て、だんだんと
元気になり、一緒に川に飛び込んだりできるようになってきたので
す。そのきっかけは、このような形の呼吸法であったり、リラクゼ
ーションの方法で、ここは安心していいんだよという場所として子
供たちに実感させたことが一つ大きかったかなと思うのです。その
ときにやられていたのがこういう一連の流れだったんですね。だか
ら、呼吸を整えるだけじゃなくて、一連の流れとして子供たちに実
感してもらうことが当方の子供たちにも、ストレスを抱えている子
供たちにも効果のあることじゃないかなと私自身も思うところでご
ざいます。

ほかにありますか。

小山田委員

東京書籍のほうですが、章末の資料ということで、本当にいろい
ろな角度から様々なテーマで書かれております。158ページとな
りますが、社会の教科書にもありましたけど、感染症についても感
染症の歴史を発展でかなり詳しく取り上げているというページがあ
ります。本当に長い歴史の中で感染症と闘ってきたと分かります。
そして今のコロナ禍のことも書かれているので、現在もなお闘っ
ているということが分かるようになっていて、保健とか体育というだ

けではなく、こういった観点からも子供たちに学んでもらえるのではないかなと思いました。

大熊教育長 他のところでは、歴史という形ではなくて、感染対策という形で書かれていますね。これはさっきの歴史もそうでしたけど、やはりこのようにしっかりと知識として持つこと、もう一つは、それを乗り越えて今があること、こういうことをしっかりと学んでいくということは大事な事かなと思います。

ほかにございますか。

穂坂委員 医師として一つ。最近、癌教育ということがもう普通になっております。どの教科書にも癌教育の記載はあるんですけども、その中で、東京書籍は、がんを防ぐための12か条と記載されております。95ページですね、1978年の場合と、新しい2011年のものが載っております。こういうことをしないと、癌になってしまうと。しないとというか、するとなってしまうということですね。

最近では治療も効くようになり、サバイバーという形で、普通の生活に戻られている方もおり、以前よりかは恐ろしくない病気となりました。しかし、ならないのが一番なので、皆さんに改めて癌という恐ろしい病気を理解して頂きたい辺りも採用の一つに考えていただければと思います。

大熊教育長 これは非常に面白いなと思ったのですが、新旧のがんを防ぐための12か条を読み比べて気づいたことを挙げてみましょうということですが、これはこうしようと言っているのではなく、がんの研究が進んできて、こういうことに気をつければがんにならないよということが一つ裏にあって、子供たちはこれを読み解くことによって、自分の生活を改善できる方向に動くんじゃないかな、そんなふうに思ったのではないですか、どうですかね。

穂坂委員 最近、本当に喫煙者がどんどん減っておりますよね。かつ、昔の紙巻きたばこという形から電子たばこに移行しております。ただし、電子たばこは歴史がまだ浅いので、本当に紙巻きたばここと比べて安全なのかどうかというのはこれから結果が出てくるかと思えます。

大熊教育長 私どもは主体的に子供たちが自ら自分の生活を改善していくという形を大事にしたいとするなら、しっかりと教えるということも大事ですし、子供自ら考えるということも大事だと思います。その点では、性の多様性であるとか、リラクゼーションの方法、そして、がんの予防についての記述がしっかりしている東京書籍を選びたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 それでは、保健体育の教科書は東京書籍に決定いたします。次に、技術・家庭（技術分野）の説明をお願いいたします。

門脇選定副委員長 それでは、技術の調査研究の報告をします。全部で3社になります。

東京書籍は、問題解決例が示されて、実習例だけより問題解決全体の視点の流れが分かります。以前に比べて、1章、2章となっているんですが、編末資料のところに「すごいぞ、技術」というのがあって、ここでは最新技術を取り上げるとともに、各自が深く考える内容が提示されているというような特徴がありました。

教育図書には、問題解決の流れが漫画で分かりやすく説明され、視覚優位の生徒にも分かりやすい工夫がされています。安全に実習をするためのスキルアシストが別冊でまとめられていることがあります。

それから、開隆堂には、手順や方法がシンプルで明確に示されています。小学校や他教科とのつながりが分かりやすく明記されているなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方どうぞ。

小山田委員 技術分野の学習ということでは、ものづくりなどの技術に関する実践的、体験的な活動を通して、より良い生活を構築する資質能力を育成することを目指しております。実践的、体験的な活動という点において特徴のある教科書はございますでしょうか。

門脇選定副委員長 東京書籍は、テックラボとして基礎技能を作業時に確認できるよう、そういうまとめがされています。

大熊教育長 よろしいですか。

小山田委員 はい。

大熊教育長 ほかにございますか。

浅野教育長職務代理者 情報技術の内容について、特徴的な教科書があれば教えてください。

門脇選定副委員長 やはり東京書籍に情報の技術の便利な面だけでなく、危険性や注意すべき点についても明確に記載がされております。

大熊教育長 その点は、実は特筆すべきところで、情報社会の光と影の部分、両方もしっかり記述されていることは高く評価できるんじゃないかなと思います。

よろしいでしょうか。それでは、これから協議に入ります。御意見をお願いいたします。

佐島委員 主体的な学習を進めていく上で、問題解決の流れになっているということは大切じゃないかなと思いますね。その点から、東京書籍の教科書というのは、巻頭のガイダンスで技術の見方、考え方や問題解決のプロセスなどを扱っています。また、各編の終わりに問題解決例が示されていて、問題解決を進めていく上でのヒントが示されています。こういう工夫で、生徒自身が問題解決の全体的な流れをしっかりと理解して学習していけるのではないかなと思います。

大熊教育長 こういうところですよ。ちょっと面白い記述があって、技術・家庭科は、工夫、創造の力が技術を支える。それから、技術は夢をかなえるためにある。それから、技術の見方、考え方をこうすべきであるという、そういうところが最初に示されているところというのは、学ぶための心に火をつけますよね。これは面白いかなと思いました。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

技術は中学校になってから初めて学習する内容で、しかも、総合分野というか、応用分野というか、ほかのいろんな教科の内容が関わってくるものだと思います。なので、重要なことは、小学校の何と関係しているのかということとか、ほかの評価と関係しているのかということを示すものだと思うのですが、その点でいうと、開隆堂は比較的丁寧にその点を示しているなと思いました。内容ごとに、最初のほうの形で、小学校の学習内容が、それから、ほかの分野の学習内容との関係をマークで示していることを評価しております。これはとても親切だなと思いました。

大熊教育長

ほかにございますか。

小山田委員

材料と加工というところの学習で見たいと思いますが、どの教科書も生徒が主体的に学ぶことができるように、今も御説明ございましたけれど、問題解決の流れというのが最初に提示されております。ただ、3章を比べますと、東京書籍と開隆堂は学習課題というのを設定されておまして、こちらの2社は設定されており、さらに、東京書籍が内容の特性に合わせた加工方法にどのようなものがあるのだろうか。最初は、レッツスタートみたいな形で、課題へ行く前にワークショップ、何かヒントという問いの形の学習課題というのが示されておまして、それを持ちながら学習を進めていくというような流れになっている、この東京書籍がより主体的な学びにつながるのではないかと思います。

大熊教育長

ほかにございますか。

穂坂委員

東京書籍でのテックラボの説明が先ほどございましたけれども、基礎技能を確認しながら作業を進められるという点では素晴らしいことかなと。その基礎を確認しながら、確実に物をつくったりしていくということで、けがをしない、安全を考慮して、学べるのではないかなと思います。

大熊教育長

なるほど。先ほど浅野委員が言われた、技術・家庭科というのは、

そういう意味では、中学で初めて教科になるのですが、先ほども見せました東京書籍の中身を見ていったときに、このページでさっきの工夫、創造というのが出てきますね。ほかの教科書は、初めから見ていると、ガイダンスはありますが、そういう記述がないですね。これも今見て分かりましたが、夢という言葉が最初に出てきて、これは学ぶ当初に、子供の心に火をつけるということがあった場合、どの教科書が技術を学んでみたい気持ちになるのかということ、この辺を丁寧に扱ってもらおうと、ひとつ、子供の心に火をつけるという点では一歩進んでいるのかなとは思いました。

それから、教育図書に別冊がまとめられて、これはいいなと思ったんです。別冊で見られて、どういうふうに使ったらいいんだというのが一つ明確に出ており、良いなと思います。この内容は、実は東京書籍にも中身はありますが、別冊になっているか、なっていないかということなので、その点では、こちらが駄目ということではなくて、まとめてあるということがいいことなんじゃないかなと思います。

でも、中身的にそんなに差がないのですよね。でも、小金井市の場合、子供の心に火をつけるということを大事にした教科書を選びたいという観点からすると、東京書籍の最初の夢を語るという部分は小金井市の子供たちに合っていると思うのですが、皆さん、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

その1点だけで決めていきたいと思います。よろしく願いいたします。でも、これは大事な視点だと思いますので、うまくこの教科書を使って学習を進めていただきたいと思います。そんな思いはまた先生方にも伝えていきたいと思います。

それでは、技術・家庭（技術分野）の教科書は東京書籍に決定いたします。

次に、技術・家庭（家庭分野）の説明をお願いいたします。

清水選定
委員長

それでは、家庭分野の報告をいたします。家庭分野も全3社になります。

まず東京書籍ですけれども、見開きで、目標、導入、学習課題、

生徒の活動、学習のまとめというパターンで構成されていて、授業の流れが見える化されているので、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができるということがあります。また、アレルギー対応の材料にマークがついていて1人で分かるようになっているというのも東京書籍の特徴として挙げられます。

続いて、教育図書です。導入、知識、技能、思考力、判断力、表現力を養うページへと構成されていて、最後に学んだことを考え、工夫できる、広くレポート作成で完結する形式となっています。また、題材ごとの学習のまとめ以外に、最後に選択課題のページがあるというのも特徴の一つとして挙げられます。

3社目、開隆堂です。生活に身近な疑問が分かる。それから、科学的な根拠が視覚的に分かるを視点とした内容、構成になっているというのが特徴です。実習例の題材が複数記載されており、その中から選択することができるという特徴があります。

報告は以上です。

大熊教育長

ありがとうございました。

質問のある方いらっしゃいますか。

佐島委員

家庭分野の学習では、実践的、体験的な活動を通して、生活を工夫し、創造することが大切ですがけれども、実践的、体験的な活動という点において特徴のある場所はありますか。

大熊教育長

東京書籍では、いつも確かめようとして、基礎技能を作業時に確認できる構成になっております。

大熊教育長

よろしいですか。ほかにございますか。

小山田委員

家庭分野の学習ということでは、さらに、この学習を通して、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し、そして、創造しようとする実践的な態度を養うことができると思うんですが、家族や地域の人々と協働することで、よりよい生活を実現するという観点において特徴のある教科書はございますでしょうか。

清水選定委員長 開隆堂では、多様な家族関係として、ヤングケアラーや、他者への相談の大切さ、家庭生活で困ったときの手続方法、他者を理解するロールプレイなどが多く記載されています。

大熊教育長 よろしいですか。質問ございますか。
それでは、協議に入りたいと思います。御意見をお願いいたします。

浅野教育長職務代理者 見比べてみますと、東京書籍のページの構成が非常に広々としていて、全体が見渡しやすい構造になっているかなと思います。例えば28ページを御覧いただいて、食生活の始まりの部分ですが、まずこんなふうにドーンと全体像が示されて、次のページにいくと、最初に、先ほど小山田先生が技術分野で御指摘になられたのと同じ構造があるんですが、レッツスタートがあって、課題があると。そこからつながって行って、全体としてレイアウトが伸び伸びとしていて、見通しがとてもよく構成されているなと思いました。

それで、同じ構造を技術と共有しているということがメリットになるかな。学習のリズムみたいなものが共通になりますので、その点もメリットがあるのかなと感じました。

大熊教育長 そうですね。それが大きな違いかなと思いました。
ほかにごございますか。

佐島委員 どの教科でもそうですが、特に家庭科というのは生活に密着した教科であって、授業で学習したことを日常生活に役立てているということが大切かなと思いますけど、その結果、教育図書の記事レポートで学んだことを最後に考える取組というのはおもしろいかなと思いました。

大熊教育長 ほかにごございますか。

穂坂委員 調理において、食物アレルギーは安全に大変配慮しなければいけないと思いますが、3社ともアレルギー対応はされていると思いますが、その中でも東京書籍においてはその工夫が目立っているのではないかと思います。マークがついて分かりやすくしているようで

すから。

大熊教育長 ほかにございますか。

小山田委員 家庭分野におきましても、持続可能な社会が重要な課題として取り上げられております。その中で東京書籍がサステナブルクッキングという、ちょっと珍しいお料理なんですけども、また、衣服のリメイクというものを取り上げられておりまして、この持続可能な衣食住について考えることができるようになっているので、この点では東京書籍がよいのかなと思いました。

大熊教育長 ほかにございますか。よろしいですか。

今まで技術分野ということもあったので、あまり課題解決的などが指摘できていなかったのですが、実を言うと、それがしっかり組み込まれているのが食事のところですか。これは東京書籍でスタートの食生活のところに課題が書いてありますね。これは開隆堂ですが、このページがあって、この次に食事の役割、いわゆるそのまま教えているのです。課題が明示されていないですね。

それから、教育図書、同じところですが、食事の役割とは、と説明してある。これはいわゆる従来の課題を明示しているものです。中学校はそこまで主体的ということのを重要視していなかったのですが、やはりないのがあると気になります。子供たちが主体的に学習を進めるという点では、こういうしっかりとした構造を持った教科書を選ぶことが重要だと考えました。

それから、先ほども何点か指摘していただいたように、これも実は最初の部分のところに、同じような言葉が出てきているのですが、初めて家庭科を勉強するとき、このところで、未来につながる家庭分野ということがあり、その次に自立があって、次に学び方があって、ここ、家庭分野の進め方も、課題を決めよう、計画を立てる、実践しようという形になっていて、それで、未来につながる家庭分野ということで、夢を語るというのがあります。ほかの教科書はこういう記述がなく、いきなり入っているのです。

そういう意味では、小金井市の子供たちにとって主体的に学びを進められるようになるためには、やはり課題を持って自ら進んでいくという、こういう形のスタイルになっている教科書がふさわしい

のではないかと思います。

それから、SDGsのことにしても、ほかのところは大体同じように取り上げられているし、それから、アレルギーのことにしても同じように取り上げられているのですが、違いを比べてみると、このように学習を進めることになっている東京書籍がいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 よろしいですか。それでは、家庭の教科書は東京書籍に決定いたします。

あと2つでございます。英語です。英語の説明をお願いいたします。

清水選定委員長 それでは、英語の報告をいたします。英語は全6社になります。まず東京書籍ですけれども、生徒に身近な話題に加え、SDGsや海外の文化、日本の文化についての話題もあり、生徒の見識を広げることができる構成になっています。また、1学年の内容が聞くこと、話すことから始まる構成になっているので、小学校の学習活動と大きな差がなく始まるよう工夫されています。

続いて、開隆堂です。話すことを扱っている単元で、言い換えたり、説明したりする技術を扱っているのが特徴です。また、巻末のチャンネルリストがプログラムごとに分かれていて振り返りがしやすい構成になっています。

続いて、三省堂です。言語材料の説明の情報が適切であったり、各単元でイラストを伴った場面ページが複数あり、言語材料の導入がしやすかったり、言語材料の定着につながるという特徴があります。また、言語材料の導入では、短めな文量で長文読解をする文章は長めの文量で、それぞれ適切な文量であるというのが特徴です。

教育出版ですけれども、SDGsや社会福祉、文化など多様なテーマを扱っております。また、文字での説明が細かく丁寧であるというのも特徴の一つです。

続いて、光村図書です。登場人物と彼らの物語は、生徒にとって身近で感情移入しやすいようになっているため、興味、関心を持たせることができる。3年間の物語がつながっていることも生徒が興

味を持ちやすいという特徴になっております。また、A I や絵文字、人種差別問題など、題材が現在のものから歴史的なものまで多様であることも特徴の一つです。

最後に、啓林館です。日本の学校生活に関連した身近な話題と日本の文化等を比較して、海外の文化に触れていて、生徒が興味を持ちやすいということと、各単元、ページレイアウトが統一されていて分かりやすいという特徴があります。

報告は以上です。

大熊教育長 それでは、質問のある方、お願いいたします。

佐島委員 英語の授業では、言語活動を通して、コミュニケーション能力を育てていくことが大切です。コミュニケーションの充実という観点において特徴のある教科書はありますか。

清水選定委員長 三省堂の教科書は、言語材料の説明の情報が適切となっています。また、場面提示が複数あるので、言語材料の導入、定着がしやすいという特徴があります。

大熊教育長 ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者 今の英語教育では、日常的な話題等について英語で表現したり、会話し合ったりすることが重視されているかなと思うのですね。しかし、日常的な話題を英語で対話するというのは実はすごく難しいことだと私は思っていて、そういうことを生徒に対して動機づけるというか、ぜひやってみたいと思わせるような教科書はありますでしょうか。

清水選定委員長 三省堂は生徒に身近な話題が多くなっておりまして、自然や文化、歴史など、社会的な話題も扱っている、バランスがよいものになっています。

光村図書は、A I や絵文字、人種差別問題など題材が現在のものから歴史的なものまで多様なものが扱われているという特徴があります。

大熊教育長 よろしいでしょうか。
それでは、これより協議に入ります。御意見をお願いいたします。

佐島委員 英語の授業においても対話的な学習はすごく大切かなと思うのですが、そういう観点から、いいなと思うことがありまして、三省堂の3年生の教科書の91ページに出ているのですが、ここでは、どういう工夫をすれば伝わるのかということを話し合う活動があります。誰でも理解できるページにするにはどんな工夫をすればよいか話し合おうということで、こういう対話を通じて学ぶ学習というのを取り入れられているのはいいなと思いました。

大熊教育長 私も全部調べてみました。どのように答えたらいいかという対話のほかのところもあるのですが、どのように言ったら伝わりやすいかという記述になっているのはこの教科書だけですね。この言い方だけが実を言うと答えのない問いになっていて、子供たちが自分自身の中で伝わりやすい表現を工夫できるというところはひとついいことかなと思いました。
ほかにございますか。

小山田委員 先ほどの質疑でもあった内容ですが、やはり身近な話題や社会的な話題など、生徒が興味、関心を持つ教材というのが必要になると思います。その点から見ますと、光村図書や、あと、三省堂が生徒の興味を引く教材が扱われているのではないかと思います。

大熊教育長 主体的に子供が学ぶということに関して言うと、身近な教材であるということは非常に重要だと思いますので、その点はひとつポイントになるかなと思います。
ほかにございますか。

穂坂委員 どの教科書も文章が長いようで、読むのが難しいと感じる生徒さんもいらっしゃるのではないかなと思うのですが、三省堂と東京書籍、光村図書は、ヒントとなる単語が書かれていたり、理解を深めるという助けにはなるのではないかと考えております。

大熊教育長 そうなのですね。このところに出ていますが、こうやって教

科書の端のところに単語と言うのですかね。ないものもありますよね。この教科書はこういう感じでありますね。この教科書は高校や大学の教科書に近い感じですよ。1個1個調べなきゃいけませんね。

もう一つ、これは言わなければなりません。教育出版と開隆堂は文字だけです。光村図書と三省堂は単語の説明があります。東京書籍も単語の説明が、あるのとないのがあります。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

今の穂坂委員の感想に私も全く同感で、英語が小学校に前倒しされてしまった余波で、中学校の英語の内容が非常に高度化してきているなと感じます。どの教科書を見ても非常に難しいなという中で、特に英文素材、英文教材は長くなっているなと思うのです。それはどれもそうなのですが、先ほど選定資料の御説明にもありましたように、三省堂は導入の時間が長文の場合は非常に長くなっているという御指摘があって、私もそのとおりだと思います。三省堂は現在も使っている教科書だと思います。

それで、すみません。清水先生に確認ですけれども、今、英語を教えていらっしゃる先生方は、小金井市の生徒たちはこれで十分にやっていけるといふふうに先生方の目から見て、思っているということでしょうか。

清水選定
委員長

はい。そのように聞いております。

浅野教育長
職務代理者

ありがとうございます。そこだけ確認したかったものですから、ありがとうございます。

大熊教育長

教育委員会の訪問に行っても、子どもたちは、この文章を読んでいるというよりは話している時間のほうが長いですよ。よく見させていただいて、子どもたちが本当にたくさん話している様子を見るにつけ、英語教育が変わってきたなということは実感します。

ほかにございますか。よろしいですか。

そうなってくると、これは非常に難しいですが、今の話をまとめてみますと、確かに難しい教材であり、文章も長いのですけれども、

今使っている三省堂の教科書は、子供たちにもしっかりと使えているということをひとつ言っていただきましたので、三省堂の教科書を選ぶ理由になるのではないかと思います。

もう一つは、教科書の姿勢の中で、伝えてみようという記述があるところですね。答えのないことが教科書に書いてあるわけです。その感じというのは、子供たちにも英語を学ぶときに、日本語でも何て言ったらうまく伝わるかということは常に考えていることなんですけど、この英語の教材においても、何と言ったらうまく伝わるのか。英作文をしたら同じ言い方なのかかもしれないけど、どちらのほうが伝わるかという感覚を子供たちに養ってもらおうことというのはとても大事なことだと思うのです。たった一つですが、こういう教材があるということの教科書を選ぶとき、先生方もこの視点に立って授業を行っていただけないかと、そんなふうに思うわけです。

そこで今、現在扱っている三省堂を継続して使用していくということで、いかがでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

それでは、英語の教科書は三省堂に決定いたします。
最後の評価でございます。道德の説明をお願いいたします。

門脇選定
副委員長

それでは、道德の調査研究報告をいたします。全7社になります。
東京書籍では、読み物教材に加え、ビジュアルから考える教材や漫画を活用した教材など、多様な教材が掲載されています。どの学年にも心情円というものがついており、自分の気持ちを可視化して表すことができるなどの特徴がありました。

教育出版には、学年ごとに教材の分量が考えられており、第3学年は進路とのつながりを特に意識した内容になっています。多様性など、現代的な課題を考える教材が充実しているということが特徴です。

光村図書では、学年が上がるにつれて、実社会に関わる題材が増え、各学年の発達段階に応じた題材が選択されています。3学年を通して、まずどのような自分でありたいかを考えさせる構成となっているなどの特徴がありました。

日本文教出版には、いじめ、自立と共生、環境とみらいについてユニットが配置されています。別冊ノートが附属されており、1時間ごとの思考の変化を継続的に記録することができるなどの特徴がありました。

学研には、LGBTQに関する教材、キャリアを考えるための教材を発達段階に応じた内容で取り扱われています。SNSのよい部分と危険な部分を扱った教材もありました。そのような特徴があったということです。

あかつき教育図書には、1学年に3か所、マイ・プラスというものが設置されていて、ロールプレイや話し合いによって深めることができるというものになっていました。小金井市の取組に出てくるハチドリを扱った教材が掲載されていますという特徴がありました。

日本教科書には、考えよう、深めようという振り返りのコーナーが設けられており、学びの流れがパターン化しやすくなっている。様々な分野や業績を残した人物を取り上げ、生きる勇気や知恵などを感じることができる教材が多く掲載されているなどの特徴がありました。

報告は以上です。

大熊教育長

ありがとうございます。質問のある方どうぞ。

小山田委員

今、考え、議論する道徳というのが求められていると思うのですが、多面的、多角的に考えるための工夫など、特徴のある教科書はございますでしょうか。

門脇選定
副委員長

あかつき教育図書には、ベビーカー論争や、ライオンが逃げたなど、実際に起こった出来事を基に、どうしたらよいか葛藤させる教材が複数あり、生徒にとって身近な題材が多く、議論しやすくなっています。

光村図書には、日常生活にありがちな道徳的な判断を求められる場面を取り上げ、対話を通して問題を解決しようとする教材が掲載されています。

大熊教育長

これですね。これは熊本地震のときにSNSで拡散された写真ですね。そのときにどういうふうを考えるのかという、身近な教材

が扱われているということです。

ほかにございますか。

佐島委員 生徒が道徳的価値について深く考えるために特徴のある資料が掲載されている教科書はありますか。

門脇選定 あかつき教育図書では、「あのハチドリのように」が教材として掲載

副委員長 されていて、小金井市のハチドリプロジェクトに関してより理解を深めることができるようになっています。

また、光村図書では、学びをプラスで、構成的エンカウンターを利用する内容が掲載されています。

大熊教育長 これがそうなのですよ。光村図書の何でしたっけ。

清水選定 学びをプラスというものです。

委員長

大熊教育長 ところどころに入っているのですよね。決まりについて考えてみようという。ディベートをするときに、きっかけになるような言葉がけですね。だから、少しずつ道徳の授業の在り方も変わってきて、教材を読んで、それで意見を言うということだけではなくて、自分たちでも、実はさっきのライオンが逃げたもそうですが、教材も非常に短くて、子供たちが話し合うということが中心に行われる教材であるということは、今までと変わってきたなという感じがします。

ほかにございますか。

小山田委員 選定の調査資料を拝見しますと、東京書籍は、巻末に心情円が学期ごとのまとめのワークシートがありまして、振り返りに利用できるとあります。教育出版のほうも学期ごとや1年を通した振り返りのワークシートを使うことができるとあります。このように生徒が自分で、自分の成長や学びを実感できる振り返りというのがとても重要であると思います。

大熊教育長 これですね。自分でまとめるところが書いてあるのです。それか

ら、これもちょっと違うのですが、自分の気持ちを表すものとか、これは学期ごとにどうだったかという学びを振り返るペーパーですね。こういうのは今まではなかったかなと思います。

ほかにございますか。では、協議になります。

穂坂委員

質疑の中にもありましたけど、あかつき教育図書のハチドリプロジェクトの基になったというんでしょうか。「あのハチドリのように」という題材のものがより身近なものと思われるような感覚になってよろしいのかなと思いました。

大熊教育長

ここですね。これが本文ですね。

ほかにございますか。

浅野教育長
職務代理者

本当に道徳が特別な教科化された経緯というのは、いじめ事件にあったわけですが、道徳の授業なので、いじめに関する教材というのは特別に重要な位置を占めているだろうと思います。どの教科書もいじめを扱った教材を掲載しているわけですが、あかつき教育図書の場合は、ページで見ていただくと、1年生で、例えば目次を見せていただきたいのですが、下欄のちょっと茶色く囲われている部分ですね。「いじめを考える」と下に書いてあって、5番から7番の素材がいじめはやってはいけないとあって、いじめを重要な課題として扱いますよということをはっきりと示しているという点が、特別な教科道徳というふうに、教科の成り立ちにとっては適合的かなというふうにまず思いました。

その上でなのですが、現行は光村図書でしたっけ。光村図書のほうも同じように目次を見ていただくと、こちらはないのですよね。10ページを見ていただきたいんですが、目次にはいじめというのがまずないということ。

大熊教育長

目次にはないですね。

浅野教育長
職務代理者

ないのです。それで、その上で10ページを開いていただきたいのですが、10ページには、道徳の道案内として、どのようなユニットがいじめに当たるかが明示されているのですね。いじめを許さないところについて考えて、7、8、9がそれに当たると。あえて

目次で示さないということに意図が多分あるんだろうなと思っていて、思い出したのが、私は保護者として教育委員に関わっているのですが、自分の子供が中学校に通って、道徳の授業を受けるわけですね。道徳の授業がどうかという話をよくするのですが、そのときに、彼が漏らした感想の一つが、どうも答えがあるっぽい感じがすると言うのです。いじめを目次から外す理由はいろいろあると思うのですが、つまり、ピンクシャツでの素材だったら、「いじめしちゃいけないですよ、そういうことですよ」というふうに受け止められかねないリスクがあるんだろうと私は思うのです。なので、いじめを前面に押し出すやり方にも意義はある。同時にそれを前面に押し出さないやり方にもそれなりの合理性があるということを確認しておきたいかなと思います。

ただ、本来の教科としての成り立ちから考えると、あかつき教育図書のように明示したほうが多分親切だろうとは思いますが。

大熊教育長 なるほど。ほかにございますか。

佐島委員 道徳においても、主体的・対話的で深い学びというものを目指していきたいと思うのですが、正解を見つける道徳ではなくて、主体的・対話的で深い学び。この点から、あかつき教育図書の発問というのは、2問程度で形成されていて、多様な考えが出るような質問になっているなと感じました。

具体的には、1年生の62ページのところですが、できるだけたくさん考えを挙げてみようというのを最初に言っています。何々について考えようとかじゃなくて、たくさん考えを挙げてみよう。その中で多様な考えが出るような発問をして、下のほうに書いてありますけれども、その次の発問で一番大事なことは何だろうというふうに、自分の考えが深まるようなものに進んでいます。こういうふうな流れ、発問していくことによって、子供たちがより主体的に学んでいくことができるのかなと思いました。

大熊教育長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

今話を聞いてみると、浅野委員のお子さんの答えが決まっているという感じのところでも少しでも払拭する授業を行うためには、

実はあかつき教育図書の教科書に書いてある、たくさんの考えを挙げてみようということをしかりと実践していただいて、その中から何がいいのかというのを考えてもらうという、このスタイルは新しい風を呼び込んでくれるのではないかなと思います。

私自身も全部調べてみたのですが、ほかのところの教科書の中にも最後のところに、実はこういう形で問いが全部書いてあります。書いてあるのですが、なぜだろう、どういうことだろう。そうしたら、なぜだろう、どういうことだろうということだけで聞いてみたら、先生は何と答えてほしいのかなということを考える可能性があります。でも、たくさん挙げてみましょうと言われたら、自分の心の中にある様々な思いを表現していくという時間が取れるのではないかなと思います。その中で子供たちは深い議論を進めていってもらおうということを実践したいと思うのです。

以上のことから、そのことを実現できるであろうあかつき教育図書でよろしいでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長

新しい道徳の授業の在り方も模索していただきたいということの願いを込めて、最後のところの、たくさん挙げてみようということを実現していただきたいということは、これは大事にさせていただきたいと思いながら、道徳の教科書はあかつき教育図書に決定いたします。

それでは、令和7年度小金井市立中学校使用教科書の採択につきましては、国語が光村図書、書写が光村図書、地理が帝国書院、歴史が東京書籍、公民が東京書籍、地図が帝国書院、数学が数研出版、理科が学校図書、音楽が教育芸術社、器楽が教育芸術社、美術が光村図書、保健体育が東京書籍、技術が東京書籍、家庭が東京書籍、外国語が三省堂、道徳があかつき教育図書と決定いたします。

以上で、令和7年度中学校使用教科書の選定を終了いたします。お疲れさまでした。

少し休憩させていただきたいと思います。

休憩 午後5時45分

再開 午後5時50分

大熊教育長 再開します。
報告事項 1、その他です。学校教育部から報告事項があれば発言
願います。

大津学校 特にございませぬ。
教育部長

大熊教育長 生涯学習部の職員は本日おりませんが、生涯学習分野で報告事項
があれば発言願います。

大津学校 冒頭に教育長より、生涯学習部職員の不在につきまして確認があ
ったところをございませぬが、報告事項につきまして特にない旨の
報告を受けているところだす。

大熊教育長 ありがとうございます。以上で報告事項 1 を終了いたします。
次に、報告事項 2、今後の日程についてですが、詳細については
配付資料のとおりとなります。日程について何か質問等はございま
すか。

以上で報告事項を終了いたします。

次に、日程第 4、議案第 22 号、職員の人事異動についてを議題
とするところだすが、本件は人事に関する事件で、小金井市教育委
員会会議規則第 10 条第 1 項に規定する事件に該当するため、非公
開の会議が相当と判断いたしますが、委員の皆様、異議はございま
せぬでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 全員異議なしと認め、秘密会を開催いたします。
準備のため、休憩いたします。

休憩 午後 5 時 5 2 分

再開 午後 5 時 5 4 分

大熊教育長 再開します。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして、令和6年第8回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 午後5時55分